要覧ちとせ

千歳略年表

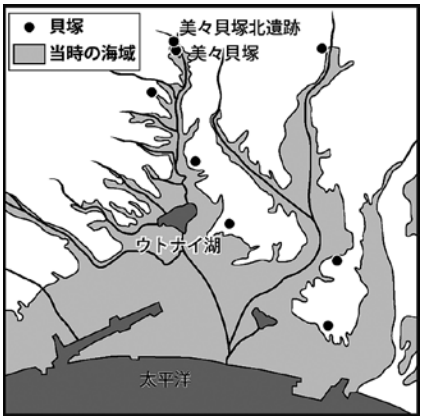
北海道千歳市

1　ちとせ略年表

4万6千年前	支笏火山大噴火
3万年前	千歳に初めて人が住む（祝梅下層遺跡）
2万4千年前	細石刃文化（柏台1遺跡）
2万年前	恵庭岳大噴火
1万8千年前	細石刃文化（オルイカ2遺跡・祝梅川上田遺跡）
1万5千年前	細石刃文化（祝梅上層遺跡・メボシ川2遺跡・オサツ16遺跡）
1万4千年前	縄文文化も小規模ながら見られ始める（キウス4遺跡・キウス9遺跡）
9千年前	樽前山大噴火
7千年前	美々川・美沢川など千歳の川辺に縄文時代の村ができ始める 子供の足跡をつけた土版が作られる（美々7遺跡）
6千年前	縄文海進　美々貝塚（市指定史跡）や盛土遺構（美々貝塚北遺跡）が造られる
4千年前	環壕が造られる（丸子山遺跡）
3千2百年前	中央地区に大規模な集団墓地が造られる（国指定史跡キウス周堤墓群） 石棒（市指定有形文化財）が作られる
3千年前	動物形土製品（国指定重要文化財）が作られる（美々4遺跡）
2千5百年前	樽前山大噴火
2千4百年前	土面（国指定重要文化財）が作られる（ママチ遺跡） 男性土偶（市指定有形文化財）が作られる（ウサクマイA遺跡）
2千3百年前	続縄文文化（北海道）・弥生時代（本州）
1千3百年前	東北より蕨手刀（市指定有形文化財）が伝わる（ウサクマイA遺跡） 擦文文化（ウサクマイC遺跡・ウサクマイN遺跡・末広遺跡・丸子山遺跡）
7百年前	アイヌ文化（末広遺跡・美々8遺跡・オサツ2遺跡）
3百年前	チャシが造られる（アッテウシ・フレドイヒ・シュトクンネヒ・ペサなどのチャシ）

教育委員会埋蔵文化財センター

縄文海進のようす



教育委員会埋蔵文化財センター



江戸時代末の千歳橋付近

正保元（1644）年	「正保御国絵図」シコツ越えが描かれる
万治元（1658）年	志古津弁天堂建立　地名「志古津」初出（『福山秘府』）
寛文６（1666）年	僧円空　自作仏像奉納
７（1667）年	樽前山大規模噴火
享保９（1724）年	東蝦夷地シコツ－餓死者多発
元文４（1739）年	樽前山大噴火
享和２（1802）年	幕府「蝦夷地奉行（箱館奉行）」を新設・羽太正養、戸川安論を任命
文化２（1805）年	「シコツ川」を「千歳川」と命名（羽太正養命名）
安政４（1857）年	荒井金助・村垣範正　石狩－千歳間道路を開削
	松浦武四郎　千歳（支笏湖）周辺踏査（５回目の蝦夷地踏査）
慶応３（1867）年	樽前山中噴火
明治２（1869）年８月	千歳・長都・漁・島松・蘭越・烏柵舞６村＝胆振国千歳郡編成
20日	高知藩の支配地が千歳郡、勇払郡、夕張郡となる
３（1870）年	高知藩開拓者ママチ川両岸に入植
４（1871）年５月	勇払開拓出張所設置
５（1872）年２月３日	樽前山大噴火溶岩円頂丘崩壊
5月	開拓使千歳出張所開庁（担当　藤田　武三）
10月１日	千歳郵便取扱所設置
	新保旅館開業（千歳初の旅館）
６（1873）年12月	室蘭街道（現・国道36号）開通　開拓使が千歳に駅逓所開設
７（1874）年２月８日	樽前山噴火（２・16にも噴火）
4月28日	開拓使千歳出張所廃止、勇払出張所所管となる
８（1875）年２月	開拓使民事局所管となる
11月	稲荷神社（後の千歳神社）、豊受姫大神を祭り郷社となる
10（1877）年	支笏湖街道（沼街道）開削（ママチ、藤の沢経由）
11（1878）年11月13日	官営美々鹿肉缶詰製造所開設（M13～休業、M17・６廃止）
12（1879）年７月23日	郡区町村編成－苫小牧を本郡とする五郡役場設置　開拓後、郡区町村編制法施行により管内大小区廃止
10月15日	寺小屋開設
13（1880）年３月１日	勇払外五郡郡役所開庁（苫小牧）
	千歳郡各村戸長役場開庁（初代戸長　石山　専蔵）
	巡査駐在所分署開設
4月１日	千歳教育所開設（戸長宅）
14（1881）年９月２日	明治天皇行幸・千歳行在所泊（新保旅館）
16（1883）年10月７日	樽前山噴火（10・８、11・15にも噴火）
17（1884）年５月	山口県人31戸・千歳入植（長岡　源次兵衛外140人）
18（1885）年１月４日	樽前山噴火（３・26にも噴火）
6月	千歳学校校舎設置（現・錦町１、民家借り上げ）
19（1886）年４月13日	樽前山噴火（４・15～16、28にも噴火）
20（1887）年９月３日	樽前山噴火（10・７～８にも噴火）
21（1888）年12月	さけ・ますふ化場開設（伊藤　一隆技師）
22（1889）年４月	千歳学校、千歳簡易科小学校となる
23（1890）年８月	千歳由仁道路開通
24（1891）年	ケヌフチ神社（現・泉郷神社）建立
25（1892）年７月	札幌警察署千歳巡査駐在所開設
26（1893）年	千歳原野殖民地区画割完了（号線設定）
27（1894）年２月	千歳原野殖民地払下開始
	ネシコシ・オルイカ・ケヌフチ官林解放
2月８日	樽前山噴火
3月	千歳簡易科小学校新築（本町３）
	阿寒湖カバチェップ（ヒメマス）卵移植（支笏湖）
28（1895）年	ネシコシ造田本格化
29（1896）年７月１日	千歳郵便局為替・貯金取扱開始
11月９日	捕魚車（インディアン水車）始動
30（1897）年６月13日	千歳郡漁・島松２村離脱－漁村外一ヶ村戸長役場開庁（７・15）

明治30（1897）年７月　千歳郡千歳村のうち幌内を長沼に帰属
　　１日　千歳郡千歳村外四ヶ村戸長役場開庁
　32（1899）年９月　長都に私立教育所開設（土谷弥之進、河本勇吉）
　33（1900）年６月　千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置
　　９月24日　幌加簡易教育所設置
　　10月８日　嶮淵簡易教育所仮教場設置
　　11月21日　長都簡易教育所設置
　34（1901）年６月３日　長都尋常小学校開校
　　12月１日　近唐簡易教育所設置
　35（1902）年４月　木臼簡易教育所設置
　39（1906）年９月１日　阿宇砂里簡易教育所設置
　　ママチ川上に牧場経営
　　乳牛飼養（戸田菊治）
　41（1908）年１月１日　千歳郵便局電信取扱開始
　　８月12日　王子製紙苫小牧工場専用鉄道（山線・王子軽便鉄道）運行開始（Ｓ26・５・10廃止）
　42（1909）年４月　樽前山大噴火（４・17～19に噴火）
　43（1910）年７月12日　王子製紙千歳第１発電所送電開始
大正元（1912）年10月１日　烏柵舞特別教授所設置
　　11日　千歳郵便局電話通話取扱開始
　４（1915）年４月４日　第１回村会議員選挙執行
　　20日　千歳村２級町村制施行（千歳・長都・蘭越・烏柵舞村合併４・１）
　５（1916）年３月　王子製紙千歳第二発電所完成
　６（1917）年４月　嶮渕尋常小学校・近唐尋常小学校・木臼尋常小学校・阿宇砂里尋常小学校開校
　　30日　樽前山噴火（５・12にも噴火）
　　12月　私立王子尋常小学校開校（烏柵舞特別教授所廃止）
　７（1918）年５月　樽前山噴火
　　王子製紙千歳第三発電所完成
　　６月　千歳小学校高等科新設
　　６日　新嶮渕尋常小学校仮校舎授業開始
　　13日　樽前山噴火
　　10月　嶮渕尋常小学校新築完成
　８（1919）年４月１日　農産物検査所開設（竜丑内＝新川）
　　５月４日　樽前山噴火
　　王子製紙千歳第四発電所完成
　９（1920）年７月17日　樽前山噴火（７・22にも噴火）
　　10月１日　第１回国勢調査実施（1,065世帯、5,366人）
　　12月13日　千歳尋常小学校根志越分教場開設（根志越青年倶楽部）
　10（1921）年７月６日　樽前山噴火
　11（1922）年４月24日　樽前山噴火（４・25にも噴火）
　　７月　摂政宮支笏湖行啓（本道初行啓）
　　８月４日　消防組創設
　12（1923）年２月21日　樽前山噴火（このほか６～８月に噴火）
　　嶮渕小学校高等科併置
　13（1924）年４月１日　根志越特別教授所開設（旧・千歳尋常小学校分教場）
　　６月　国立公園地域編入の請願、「支笏湖」を「千歳湖」に改名する上申書提出
　　７月　「北海道千歳郡千歳村字『ママチ』ニ航空場設置ノ件」衆議院請願委員会採択
　　９月　千歳地方ひょうの害　農地被害1,400ha・被害額10,500円
　15（1926）年５月１日　釜加特別教授所開設
　　８月22日　北海道鉄道札幌線（苗穂－沼の端）開業　千歳・美々駅設置（Ｈ29・３・３廃止）
　　10月　樽前山噴火（10・19、24、26、30）
　　22日　小樽新聞社機「北海」第１号千歳着陸場飛来
昭和３（1928）年９月　樽前山噴火（９・６、10・25にも噴火）

昭和４（1929）年 ９月　千歳市街電灯供用開始
５（1930）年 ６月22日　「キウスチャシ」（周堤墓群）史跡仮指定（～Ｓ24）
６（1931）年 ４月　烏柵舞尋常高等小学校開校（旧・私立王子尋常高等小学校）
８（1933）年 ２月　第１次千歳村経済更生計画樹立
５月　美笛　金鉱脈第１露頭発見
９（1934）年 10月28日　千歳飛行場開場式　北海タイムス社機「北斗」飛来
10（1935）年 ９月24日　千歳郵便局電話交換開始
市街通話開始
10月　中島商事、鉱山操業開始（美笛／10月～金採掘開始　坑外専用軌道敷設＝ガソリン機関車５両配置）（Ｓ27・７千歳鉱山軌道廃止）
11（1936）年 ９月　支笏湖郵便局開局（水溜郵便取扱所廃止）
胆振嶮渕郵便局開局
10月　千歳鉱山㈱創立　金採掘本格開発（美笛）
５日　第34回陸軍特別大演習期間中旅客機便臨時就航（千歳－羽田）
11月15日　樽前山噴火（11・25にも噴火）
12（1937）年 ２月15日　千歳鉱山特別教授所開設
12月　支笏湖郵便局集配・電信電話取扱開始（集配三等局昇格）
13（1938）年 ４月11日　第２次経済更生計画樹立・特別助成村指定
８月11日　美笛郵便局開局
10月13日　都市計画区域指定
14（1939）年 ４月１日　千歳村１級町村制施行
８月27日　日本初世界一周機「ニッポン」、米アラスカ州ノームに向け発航
11月　札幌警察署千歳警部補派出所開設
１日　千歳海軍航空隊開庁（陸上攻撃機・艦上戦闘機部隊）（５日開隊式／Ｓ18・３・１解隊）
12月　千歳鉱山製錬所完成
17日　北海道農産物検査所札幌支店千歳出張所開設（由仁町字三川）
千歳農業会内駐在所開設
15（1940）年 ３月　胆振種馬所千歳種付所開設（嶮渕）
４月　北海道林産物検査所札幌支所千歳駐在所開設（Ｓ19北海道石狩千歳林産物検査所）
16（1941）年 10月１日　木更津海軍航空廠大湊支廠千歳分工場設置（Ｓ17第41海軍航空廠千歳支廠、Ｓ19千歳が本廠）
11月　コンクリート道路完成（千歳駅－航空隊営門）
17（1942）年 １月　北海少年院開設
21日　美笛郵便局電信電話取扱開始
４月１日　北海道食糧営団千歳出張所開設
５月１日　町制施行（初代町長　岡本　幸信）
７月２日　千歳第一土地区画整理組合設立認可
18（1943）年 １月16日　森林組合設立
２月１日　千歳町国民健康保険組合事業開始
４月１日　金鉱業務整備令実施、千歳鉱山休山（保坑）
８月１日　鉄道省　北海道鉄道戦時買収（バス部門戦時統合北海道中央乗合自動車）
19（1944）年 １月１日　千歳電話中継所開設
５月20日　千歳農業会発足（農会・産業組合統合）
７月２日　樽前山噴火
20（1945）年 10月５日　連合国軍米軍進駐（第５航空軍）
15日　終戦連絡札幌事務所千歳出張所開設（Ｓ23廃止）
31日　札幌財務局千歳管財出張所開設
21（1946）年 ４月１日　千歳第二国民学校開校（３月根志越特別教授所廃止）
11月１日　日本医療団千歳病院開設（開院Ｓ22・１、Ｓ23・８・１北海道移管）
20日　蘭越国民学校開校
12月24日　札幌日傭勤労署千歳出張所開設
22（1947）年 １月12日　日本医療団千歳病院開院（旧・海軍航空基地営外酒保）（Ｓ23・10道立千歳病院となる）

昭和22（1947）年 4月1日　札幌土木現業所千歳派出所開設
北海道作物報告事務所千歳出張所開設
5日　民選初町長選挙（第1回統一地方選挙　2代町長　山崎　友吉当選）
30日　町議会議員選挙
5月　恵庭営林署千歳・烏柵舞・紋別担当区事務所開設
1日　鉱山中学校開校
6月　千歳中学校開校・幌加中学校開校
7月　総合計画樹立
1日　北海道中央乗合自動車（現・中央バス）札幌－千歳間バス運行開始（9・1本町に千歳営業所新設）
9月23日　湖畔・東部（由仁町三川）支所開設
23（1948）年 1月　札幌保健所千歳支所設置
2月22日　千歳駅全焼
3月2日　千歳渉外労務管理事務所開設（旧・2代役場庁舎）
7日　自治体警察・千歳町警察発足
26日　東千歳農業協同組合設立認可
4月8日　千歳町開拓農業協同組合設立認可
14日　千歳町農業協同組合設立認可
6月1日　千歳第3小学校開校（S43・7廃校）
8月20日　東千歳開拓農業協同組合設立認可
12月1日　札幌保健所千歳支所が江別保健所千歳支所に改称
20日　道立野幌高等学校千歳分校（千歳中学校併置／後の千歳高校）開校（S24・5・1開校式）
31日　千歳駅完成（3代目）
烏柵舞小学校移転新築
24（1949）年 1月　特別調達庁札幌調達局千歳調達事務所開設（現・防衛事務所）
29日　支笏湖小学校開校
4月　米陸軍第7歩兵師団来駐
8日　札幌公共職業安定所千歳出張所開設
13日　千歳商工会設立
5月16日　支笏洞爺国立公園指定
24日　千歳観光協会設立
30日　千歳町開拓生産農業協同組合設立認可（6・25設立）
6月10日　千歳第一土地区画整理事業完了
10月17日　「開町」70年記念式典挙行
『躍進千歳の姿』刊行（千歳初の史書）
25（1950）年 4月1日　道立野幌高等学校千歳分校、豊平町立月寒高等学校千歳分校に変更
30日　北海道千歳高等学校独立設置認可（5・2開校）
5月23日　役場庁舎移転（東雲町1丁目）
8月25日　警察予備隊千歳臨時部隊駐屯（100ビル）
27・28日　千歳川流域大雨水害
9月23日　千歳音頭発表（支笏湖畔）
26（1951）年 1月29日　樽前山噴火（7・28にも噴火）
4月23日　町長・町議会議員選挙（無投票／2代町長　山崎　友吉再選）
27日　米陸軍第45歩兵師団（オクラホマ州兵部隊）朝鮮出兵のため来駐
5月　美笛支所開設（S52・11・30閉鎖）
10日　王子軽便鉄道（山線）廃止
7月　開発建設部千歳出張所開設
20日　農業委員会発足　第1回農業委員選挙
8月頃　米空軍千歳基地　北海道空港（北海道の拠点空港）指定
10月25日　民間航空再開・日本航空千歳空港所開設
26日　日本航空就航（千歳－羽田）
12月　千歳中学校新築移転（栄町4丁目）
米陸軍第1騎兵師団朝鮮から来駐（S30・3撤退完了）
27（1952）年 4月　東千歳中学校開校

昭和27（1952）年 5月1日　町章制定　町制施行10周年記念式挙行
7月　千歳鉱山軌道撤去
10月5日　町教育委員選挙
30日　千歳町警察の存廃を決める住民投票（廃止決定）
11月1日　教育委員会発足
12月4日　室蘭街道　一級国道36号となる（S40・4・1一般国道36号）
12日　保安隊千歳駐屯地開庁（現・北千歳）
28（1953）年 1月1日　国警札幌方面千歳地区警察署開設（千歳町警察廃止）
28日　千歳駅全焼
3月30日　千歳第2次都市計画施行区域決定
4月1日　千歳少年院開院
5月21日　千歳駅前巡査派出所開設
25日　北栄小学校開校
8月8日　胆振千歳郵便局新庁舎完成（本町3丁目）
9月14日　樽前山噴火
10月1日　消防本部新庁舎完成（東雲町2丁目）
3日　千歳保健所開設（江別保健所千歳支所昇格）
11月2日　千歳（千歳橋）－札幌（豊平町定山渓鉄道踏切）間道路舗装竣工＝「弾丸道路」
29（1954）年 3月　青葉公園敷地の払い下げを受ける
4月1日　町立千歳高等学校道立移管
千歳駅完成（4代目）
18日　千歳公民館開館
支笏湖畔集団施設地区指定
5月2日　樽前山噴火（11・19にも噴火）
5日　千歳保育所開設
16日　千歳保健所新庁舎完成（東雲町4丁目）
29日　千歳町体育協会発足
6月26・27日　第1回支笏湖湖水まつり（千歳・苫小牧共催）
7月1日　北海道札幌方面千歳警察署となる
8月10日　日本ヘリコプター輸送（現・ＡＮＡ）就航
23日　昭和天皇・香淳皇后御来町（全国巡幸最終奉迎地）
25日　陸上自衛隊東千歳駐屯地開庁、千歳駐屯地から北千歳駐屯地へ名称変更
9月　米空軍第4戦闘要撃航空団来駐
15日　陸上自衛隊第1特科団本部東千歳来駐
23日　陸自第11普通科連隊東千歳来駐
26日　洞爺丸台風（15号台風）、支笏湖樽前山一帯森林大被害
11月5日　大火　幸町2丁目出火・17棟全半焼
30（1955）年 1月　上水道給水開始
2月4日　樽前山噴火
4月30日　町長・町議会議員選挙（2代町長　山崎　友吉再選）
農村地区の有線放送通話開始
5月23日　長都中学校開校（H17・3閉校）
6月　ディーゼルカー（キハ17）運行
7月22日　千歳・追分地方局地的豪雨　ケヌフチ・ママチ川氾濫・被害額7,407千円
9月1日　札幌税関支署千歳出張所開設
11日　大火　幸町1丁目出火・全半焼144棟・罹災世帯160・被害額13,925千円
31（1956）年 1月　駒里・中央・泉郷・水明中学校が千歳中学校から独立開校
3月　青葉公園都市計画公園認可
4月　末広小学校開校
5月　千歳川・ケヌフチ川改修着工（長都原野開発事業所）
6月　南長都地区開拓計画実施
18日　北栄小学校で石狩管内最初の完全学校給食を開始
8月5日　町営と場開設（北信濃）
9月15日　冷害（40数年来）

昭和31（1956）年 12月１日　公益質屋開設（Ｓ43・３・１廃止）
32（1957）年 ４月１日　緑小学校開校
５月１日　航空自衛隊第２航空団先遣隊移駐（５・20飛行隊移駐）、（浜松から・千歳飛行場周辺でＦ－86Ｆ×２墜落）
８月　青葉中学校開校
24日　第２航空団主力移駐（浜松・Ｆ－86Ｆ装備）
９月２日　航空自衛隊千歳基地開庁
10月１日　町内字名廃止
33（1958）年 ３月１日　役場庁舎完成移転（東雲町２丁目）
公民館移転（東雲町１丁目　旧・町役場庁舎）
国鉄長都仮乗降場開設
５月１日　真々地保育所開設（Ｈ24・３・31民営化、あずさつくし保育園として移転開園）
６月　米空軍完全撤退
23日　天皇陛下（皇太子殿下として）支笏湖御遊覧
７月１日　市制施行（初代市長　山崎　友吉）
千歳駅前郵便局開局
千歳特別無線中継所開設
長都駅開業
８月　本町巡査派出所開設
９月　モーラップ野営場市移管
11月１日　市営ガス事業供給開始
12日　美笛－大滝間道路開通式・丸駒－石山間道路開通（Ｓ34豪雨土砂崩れにより不通）
12月　消防庁舎完成
34（1959）年 ２月１日　千歳救難隊編成完結（Ｔ－６・Ｈ－19装備）
４月20日　水明小中学校藤の沢分校開校（Ｓ42・３廃止）
23日　豪雨　河川氾濫・道路決壊・被害額2,332千円
30日　市長選挙（２代市長　米田　忠雄当選）
市議会議員選挙
９月５・６日　局地的雷雨　美笛川橋梁流出・道路決壊・被害額2,332千円
24日　「開基」80年記念式典挙行　千歳市賛歌制定
35（1960）年 ４月　国民健康保険事業開始
５月　千歳小学校特殊学級（児童会館内＝旧・幸病院）設置
７月１日　ディーゼル急行「すずらん」運行
８月４日　全国レクリエーション大会開催（支笏湖）
11月８日　千歳商工会議所設立
36（1961）年 ５月１日　大火　幸町５丁目出火（全半焼30棟・罹災世帯70・損害額54,520千円）
16日　市議会解散決定（リコール住民投票）
24日　昭和天皇・香淳皇后をお迎え、第12回植樹行事及び国土緑化大会開催（支笏湖モラップ山麓）
６月20日　市議会議員選挙（解散による一般選挙）
７月24・25日　水害　下釜加・長都地方　住宅浸水189戸・被害額79,711千円
28日　千歳川切替工事完了根志越橋下流約6,000m新水路完成
８月11・12日　第３回国立公園大会開催（支笏湖・モラップ）
10月25日　公害対策協議会設立
30日　クマ・ステーション命名（Ｓ35～38米軍第３基地集約／主力＝ＡＳＡ千歳）
11月25日　電話自動式化　即時通話化（札幌・恵庭・支笏湖畔等）
12月１日　千歳飛行場東側滑走路供用開始
37（1962）年 １月６日　陸上自衛隊第１特科団本部北千歳駐屯地移駐
18日　陸上自衛隊第７混成団東千歳駐屯地来駐
３月12日　交通安全都市宣言
４月　千歳中学校特殊学級設置（千歳児童会館内）
７月28日　幌加峠改修工事完了
８月３日　台風９・10号来襲　被害額78,600千円

昭和37（1962）年 8月15日　陸上自衛隊第７混成団改編　第７師団創設（東千歳駐屯地）
9月15日　航空自衛隊千歳基地Ｆ－104Ｊ型戦闘機配備（第２航空団）
11月８日　市民会館開館
12月１日　蘭越生活会館開館
14日　千歳小学校・千歳中学校校舎新築（16日落成式典）
20日　企業誘致第１号新世乳業操業開始
38（1963）年 4月１日　千歳空港ターミナルビル供用開始
空港警備警察官派出所開設（Ｈ６改称・空港警備派出所）
30日　市長選挙（２代市長　米田　忠雄再選）
5月24日　強風　農作物被害・被害額24,286千円
6月　市営牧野開設（美々）
15日　支笏湖診療所診療開始
7月20日　「千歳民報」創刊（Ｒ２・１・31休刊）
12月　千歳市総合建設計画樹立
15日　国設モーラップスキー場開設（Ｈ６休止）
39（1964）年 1月　道立千歳高等学校新校舎に移転
4月１日　ＮＨＫ受信料市街地周辺半額免除（航空機騒音）
消防団東千歳分団設置
２日　消防団支笏湖分団設置
４日　新産業都市建設促進法指定
5月　水明小学校廃校（藤の沢分校は千歳小学校分校となる）
水明中学校藤の沢分校は水明中学校に統合
6月３・４日　大雨水害　釜加地方・被害額66,800千円
7月10日　公共下水道事業着手
8月７～９日　第１回千歳空港まつり開催（Ｓ49～56中止／Ｈ９～スカイ＆ビアフェスタ）
9月９・10日　オリンピック東京大会聖火空路到着　市内５区間リレー（空港～長都川左岸）
10月１日　給食センター開設（東雲町４丁目）
16日　末広保育所開設
12月１日　蘭越浄水場通水式
12日　第二小学校新築移転
16日　末広郵便局開局
40（1965）年 2月15日　豪雪　美笛地区降雪40㎝・260世帯孤立
4月　洞爺支笏湖線（現・国道276号）主要道道認可
千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校として独立開校
5月25日　市議会議員選挙
8月10日　丸市魚菜卸売市場業務開始
22日　電話・全国即時通話化（全国主要520地域）
9月10日　台風23号来襲　住宅浸水133戸・農業被害311ha・美笛地区被害甚大（死者２名）
27日　国鉄千歳線千歳恵庭間複線化
10月30日　東千歳調理場（学校給食第２センター）新築落成（Ｈ５・７・22閉所）
12月１日　千歳北栄郵便局開局
16日　暴力追放都市宣言
41（1966）年 3月　水明中学校閉校
8月17～21日　集中豪雨・被害額47,845千円
11月11日　市営工場団地立地企業第１号北海道民芸木工㈱千歳工場操業
12月22日　清く明るく正しい選挙都市宣言
23日　末広し尿処理場完成
42（1967）年 1月　日の出小学校開校
3月　藤の沢小学校廃校
4月１日　千歳市立病院開院（旧・道立千歳病院移管）
28日　市長・市議会議員補欠選挙（２代市長　米田　忠雄再選）
5月　北栄警察官派出所（現・新富交番）開所
7月７日　用途地域指定（1,302ha）

昭和42（1967）年 9月20日　北海道初有料道路「支笏湖畔有料道路」（6.97㎞）開通
10月　市営食肉処理センター開設（美々・Ｈ４廃止）
25日　農村集団自動電話開通（567戸）
26日　市内路線バス運行開始（中央バス、千歳バス）
千歳バス開業（Ｓ50・12・19　千歳相互観光バス譲渡）
11月25日　千歳空港乗降客年間100万人突破
43（1968）年 2月25日　第１回市功労者表彰
3月27日　青少年健全育成都市宣言
泉郷小中学校廃校
4月１日　信濃小学校開校
市の木を制定（シラカバ）
5月16日　十勝沖地震発生　市内全域被害・被害額16,375千円
7月　千歳第３小学校廃校
17日　千歳消費者協会設立
8月30日　歩道橋完成（市内初・千歳小学校前）
9月　島松千歳線道道認可
11月10日　胆振千歳郵便局新築移転（東雲町３丁目）
12月１日　千歳春日郵便局開局
18日　キウス環状土籬群（周堤墓群）、北海道文化財（史跡）指定（Ｓ54国指定）
44（1969）年 1月　北栄保育所開設
3月31日　市消防に化学消防車配備
4月21日　千歳市長一行アンカレジ市訪問　姉妹都市盟約書調印
5月21日　市議会議員選挙
8月２日　「開基」90年記念式典挙行　『千歳市史』刊行
9月　都市診断を報告（東洋大学学長　磯村　英一）
11月10日　千歳中学校完全防音体育館完成（北海道初）
12月６日　青少年会館開館
20日　青年の家支笏湖青少年研修センター開所（H17・３・31閉所）
45（1970）年 2月８日　全日本冬季総合大会滑降競技大会開催（８日女子・12日男子・恵庭岳・12日　滑降コース）
3月16～20日　雪害　道道洞爺支笏湖線全線不通・苫小牧営林署員行方不明
4月　高台小学校開校
大型旅客機就航（日航・ＤＣ－８型　全日空・ボーイング727型）
6月29日　スポーツ都市宣言
航空自衛隊第３高射群新編完結（千歳基地）
8月　第１回市民納涼盆踊り大会
9月16日　江別市有林約634ha売買契約締結
12月１日　千歳飛行場東側3,000m滑走路供用開始
18日　消防署富丘出張所開所
46（1971）年 1月　東小学校開校（幌加・協和・東丘小学校統合）
2月５～10日　滑降競技大会開催・恵庭岳滑降コース
7～13日　札幌国際冬季スポーツ大会（プレオリンピック）
3月31日　米軍クマ・ステーション閉鎖（東千歳）
4月　北進小・中学校開校（旧・千歳小・中学校北栄分校）
1日　千歳市第２期総合開発計画スタート
10日　公民館新築開館
25日　市長・市議会議員補欠選挙（２代市長　米田　忠雄再選）
5月15日　市街化区域及び市街化調整区域決定
6月30日　千歳渉外労務管理事務所閉鎖
7月５日　千歳公民館長都分館新築開館
8月20日　第１回千歳川まつり（現・千歳川清掃）
12月４日　道央自動車道（高速千歳ＩＣ－北広島ＩＣ）開通
47（1972）年 1月17日　真町中学校開校
29日　第11回オリンピック冬季大会聖火市内リレー

昭和47（1972）年 2月3~13日　第11回オリンピック札幌冬季大会
5・7日　オリンピック冬季大会滑降競技大会開催（5日女子・7日男子・恵庭岳滑降コース）
3月　中央中学校廃校（真町中学校統合）
24日　陸上自衛隊第1高射団編成（東千歳／後の第1高射特科団）
6月28日　北栄・新富が自治省モデルコミュニティ地区指定
7月1日　養護老人ホーム「千寿園」開設
9月19日　道央自動車道（高速千歳ＩＣ－北広島ＩＣ）4車線全面開通
12月12日　千歳市土地開発公社設立（H26・3・31解散）
48（1973）年 1月　青葉中学校校舎新築移転
15日　広報「ちとせ」発刊500号
25日　千歳恵庭高等職業訓練所開校
2月28日　公設卸売市場開業
3月16日　ガス工場移転（第1工業団地）
4月　北海道千歳北陽高校開校（中央仮校舎）
ガス水道局庁舎移転（旧・拓銀・本町3丁目）
千歳市民生委員連絡協議会発足
1日　千歳手形交換所開設
5月20日　市議会議員選挙
6月3日　千歳共同仕入センター完成
7日　Ｆ－104Ｊ型戦闘機墜落（祝梅）
10月1日　乳幼児・寝たきり老人医療費無料化実施
17日　長都大橋完成
12月4日　市道第2停車場線（旧・中央大通）東11線－9線間開通
49（1974）年 1月20日　北新コミュニティセンター開設
3月　末広小学校新築移転
4月1日　「市民カレンダー」発行開始
学校給食センター新築移転（第2工業団地）
17日　大型旅客機就航（日航ボーイング747型　全日空Ｌ－1011型）
東千歳中学校校舎落成
共同火葬場新築移転（根志越）
7月1日　千歳市医師会による救急急病当番病院制度開始
8月1～6日　ボーイスカウト第6回日本ジャンボリー開催（千歳原＝東千歳）
4～6日　皇太子殿下、千歳御滞在
10月1日　航空自衛隊千歳基地Ｆ－4ＥＪ型戦闘機配備（第2航空団）
17日　支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設（H15・3閉所）
11月1日　人口6万人突破
12月1日　東亜国内航空機就航（丘珠から移転／H16・4・1合併（日本航空ブランド））
50（1975）年 1月　住吉保育園開設
2月12日　千歳市・恵庭市境界問題解決「境界確認に関する協定書」調印（千歳市上長都地区）
4月　富丘中学校開校
27日　市長選挙（3代市長　東峰　元次当選）
市議会議員補欠選挙
30日　支笏湖温泉通湯式（39℃ナトリウム－炭酸水素塩泉）
6月1日　支笏湖自然の村開村
30日　米軍千歳基地完全閉鎖
8月10日　美々貝塚発掘調査
23日　台風6号来襲　ケヌフチ川決壊・被害額395,000千円・祝梅川溢水ほか
12月19日　千歳相互観光バス運行開始（千歳バス継承）
27日　北海道千歳北陽高校新築移転（現・北陽）
この年　支笏湖ヒメマス水かび病発生・全面禁漁～Ｓ53
51（1976）年 4月　千歳医師会准看護学院開校（Ｓ55・4改称－看護高等専修学校）
1日　青少年指標制定

昭和51（1976）年 4月1日　祝梅小学校開校
市立図書館開館
市立病院増改築し、千歳市立総合病院と改称
23日　千歳市婦人団体協議会発足（現・千歳市女性団体協議会）
26日　市庁舎新築移転（現・本庁舎）
5月1日　下水終末処理場運転開始
8日　北信濃コミュニティセンター開設
6月1日　支笏湖ヒメマス釣り2年ぶりに解禁（～7月）
8月21日　国鉄千歳線開通50周年記念式典
10月22日　千歳飛行場開設50周年記念式典
12月21日　国鉄千歳線高架事業都市計画決定
52（1977）年 4月23日　美々貝塚が市史跡指定、磨製石棒・男性土偶・駅逓看板が市有形文化財指定
5月22日　市議会議員選挙
7月23日　国設美笛野営場開設
9月19日　支笏湖畔国民休暇村開業（全国28番目、道内初）
10月16日　第1回支笏湖紅葉まつり開催
11月15日　千歳鉱山職住分離完了
30日　美笛支所閉鎖
53（1978）年 1月11日　千歳消防団美笛分団解団式
3月31日　鉱山小中学校廃校
蘭越小学校廃校（緑小学校統合）
支笏湖自然の村閉村
4月1日　桜木小学校開校
5月14日　樽前山小噴火（苫小牧測候所推定・22時53分～23時36分）
6月17日　スポーツセンター開設
8月14日　泉沢開発造成工事着手（11日「泉沢向陽台」命名）
9月7日　千歳空港国際化促進道民大会（札幌市）
10月16日　千歳富丘郵便局開局
20日　交通安全教育施設「交通公園」開設
23日　恵庭営林署千歳地区合同担当区事務所新築移転（桂木）
11月　千歳商工技術研修センター落成
16日　消防総合庁舎新築移転（現・消防庁舎）
30日　ニチイ千歳ショッピングデパート開店（現・イオン千歳店）
12月1日　千歳飛行場東側滑走路南方移動供用開始
23日　泉沢市民スキー場開設
54（1979）年 1月30日　第1回千歳支笏湖氷濤まつり開催
2月11日　千歳空港利用客通算乗降客数5000万人達成（全国4番目）
3月1日　戸長役場開設100年記念式典
11日　富丘コミュニティセンター開設
4月1日　特別養護老人ホーム「暢寿園」開園
22日　市長・市議会議員補欠選挙（3代市長　東峰　元次無投票再選）
5月22日　千歳市民友好訪中団出発
23日　ウサクマイ遺跡群、国史跡指定
6月6日　動物形土製品、国重要文化財指定
7月1日　市民憲章制定
8月4日　「開基」100年記念式典挙行
10月7・8日　第1回千歳川さけ祭り（現・インディアン水車まつり）開催
23日　キウス周堤墓群、国史跡指定
24日　千歳市防災訓練（真々地地区）
25日　泉郷獅子舞、市無形文化財指定
11月9日　姉妹都市提携10周年記念式典（サリバン・アンカレジ市長来千）
17日　泉沢向陽台開村式
12月15日　開基100年記念タイムカプセル収納式
55（1980）年 2月16日　農民研修センター開設

昭和55（1980）年 5月1日　支笏湖自然科学館（支笏湖ビジターセンター）開設
27日　日本近距離航空（現・エアーニッポン）千歳就航
7月10日　国鉄千歳線高架供用開始
21日　蕨手刀、市有形文化財指定
10月1日　千歳線電化供用開始、千歳空港駅開業・空港駅連絡歩道橋供用開始（現・南千歳駅）
11月1日　アーケード落成（ニューサンロード　H18・11・30撤去）
56（1981）年 1月20日　千歳警察署新築移転（東雲町5）
2月22日　鉄東コミュニティセンター開設
27日　樽前山小噴火
3月16日　千歳空港・植物防疫法及び家畜伝染予防法空港指定
20日　千歳空港・税関空港指定
23日　千歳空港国際定期便初就航（日本航空ホノルル線（成田経由）定期便就航（S62・12・30運休））記念祝賀会開催・記念訪米団出発
4月　千歳いずみ学園新園舎完成
1日　千歳市第3期総合開発計画スタート
千歳市環境保全公社設立（7・17財団法人）
北斗保育園開設
5月24日　市議会議員選挙
7月5日　第1回千歳日航ポピュラーマラソン（現・千歳JAL国際マラソン）大会開催
8月3～6日　“前線と台風12号による北海道の大雨”　雨量327㎜・被害額3,190,710千円
22～24日　“台風15号と前線による大雨”　農業壊滅的打撃・被害額1,101,550千円
31日　済州道観光協会と姉妹提携調印（千歳観光連盟）
10月1日　国鉄石勝線開業（千歳空港－新得間）
30日　千歳駅前広場完成
57（1982）年 2月11日　「三笠宮寛仁親王殿下と輪になって語ろう障害者とボランティアの集い」開催
3月12日　千歳青少年教育財団設立（H24・4・1公益財団法人）
4月　向陽台小学校開校
14日　千歳市農協野菜集出荷施設完成
23日　千歳市・長沼町境界確認調印式
26日　泉沢養魚場開設
5月19日　クリーンジャパンセンターが千歳市を「社会システム実験モデル都市」に指定（千歳市環境保全公社）
7月20日　千歳市文化団体連絡協議会設立
10月2日　臨空工業団地操業第1号・明昌特殊産業千歳工場完成
11月29日　リサイクルセンター運転開始
12月10日　再開発ビル（ちとせデパート入居／旧・千歳タウンプラザ）オープン／中心街コミュニティセンター開設
11日　千歳梅ヶ丘郵便局開局
58（1983）年 2月5日　高齢者事業団事務所完成
7日　人口7万人突破
3月20日　『増補千歳市史』刊行
4月1日　総合福祉センター開設（千歳コミュニティセンター含む）
13日　航空自衛隊千歳基地Ｆ－15Ｊ型戦闘機配備（第2航空団）
15日　千歳飛行場周辺移転先地公共施設整備事業・北斗5丁目宅地分譲開始
24日　市長選挙（3代市長　東峰　元次再選）
7月15日　一村一品製品化第1号「ハスカップの詩」発表
8月10日　支笏湖畔下水終末処理場（支笏浄湖苑）運転開始
19日　全国基地関係協議会正副会長会議開催
9月8日　常陸宮妃殿下総合福祉センター御視察
11月21日　東部支所東丘移設（由仁町三川→農民研修センター）
12月20日　航空3社機内放送「札幌千歳空港」から「千歳空港」に統一（旧・空港時代）
22日　紫明女子学院歌志内から移転開院

昭和58（1983）年12月22日　千歳少年院廃止（S51～58院生収容なし）
59（1984）年４月　北斗中学校開校
向陽台保育園開設
１日　市民文化センター開設（S58・12・１竣工）
14日　支笏湖畔有料道路無料化
５月27日　支笏湖公園線自転車道全線開通
７月18日　千歳市シルバー人材センター設立（H24・４・１公益財団法人）
10月１・２日　全国都市行政研究会総会開催
５日　国道276号美笛峠新ルート開通
15日　千歳自由ケ丘郵便局開局
24日　電話局番２桁移行
11月６日　消防署向陽台出張所開所
27日　市内から映画館なくなる
60（1985）年３月28日　ナイベツ川湧水「名水百選」に選定
５月26日　市議会議員選挙
８月１日　小規模授産施設ちとせ開設
20日　第16回全国中学校卓球大会開催
10月１日　環境センター廃棄物破砕処理施設始動
道東自動車道千歳－夕張間整備計画路線昇格
31日　エキノコックス汚染地域指定
11月25日　千歳白樺郵便局開局
12月22日　ひびけ市民の“第９”発表会
12月25日　北海少年院移転完了
61（1986）年１月14日　千歳市公園緑化協会設立（３・28財団法人）
２月１日　グリーンベルト地下駐車場開業
24日　千歳鉱山休山式
３月15日　第１回千歳21世紀フォーラム「都市と空港」開催
24日　札幌支笏湖国際観光モデル地区指定（旧・運輸省）
４月１日　支笏湖市民センターオープン
市の木・花・鳥を新規制定（カツラ・ツツジ・ハナショウブ・ヤマセミ・コウライキジ）
20日　湖畔が「支笏湖温泉」に字名変更
６月１日　直通バス運行（千歳空港－美笛経由－洞爺湖温泉）
（北海道中央バス・道南バス、１日１往復）
７月１日　夜間救急医療業務委託一本化（千歳医師会）
15日　札幌国際エアカーゴターミナル設立
27日　青空公園内アスファルト舗装スケートリンク竣工
８月10日　千歳飛行場・鉄道千歳線60周年記念事業「昔を偲ぶ集い」開催
10月１日　泉沢地区第２期開発事業起工式
22日　千歳飛行場開基60周年・鉄道千歳線開通60周年記念事業式典
62（1987）年２月２日　住民基本台帳オンライン業務開始
３月　職安千歳出張所　札幌東公共職業安定所管轄となる
31日　道央テクノポリス推進地域協議会設立総会（於苫小牧市）
航空自衛隊北部航空警戒管制団第８移動警戒隊創隊
４月　向陽台中学校開校
１日　泉沢向陽台コミュニティセンター開設
26日　市長選挙（４代市長　梅沢　健三当選）
市議会議員補欠選挙
５月12日　青葉公園に市民球場オープン
７月１日　航空自衛隊千歳基地　ジェット燃料タンク落雷爆発炎上（第２航空団）
８月26日　“62年８月大雨災害”　雨量254㎜・被害額298,340千円
９月13日　皇太子殿下・同妃殿下、第11回全国育樹祭御出席（支笏湖・モラップ）
11月１日　祝梅コミュニティセンター開設
14日　千歳川放水路事業促進連合協議会設立（於札幌市）
18日　「サーモン橋」開通

昭和62（1987）年 12月15日　グリーンベルト地下駐車場第２期オープン
この年　千歳空港年間乗降客数旅客数1000万人突破
63（1988）年 ２月１日　市立図書館新築移転
２月５日　公共空地整備事業竣工
３月28日　暴力追放・防犯都市宣言
４月　日本航空学園千歳校（現・日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパス）開校
６月20日　新千歳空港管制塔運用開始（千歳管制隊）
７月10日　新千歳空港オープニングフェスティバル開催
17日　おさつ駅前土地区画整理組合設立
20日　新千歳空港開港（Ａ滑走路供用開始）
国際エアカーゴ初便就航
23日　青葉公園中央広場開園
８月６・７日　第１回清流千歳川噴水フェスティバル開催
31日　コングスベルグ友好親善都市声明文に署名（コングスベルグ）
12月15日　長都へき地保育所落成
17日　東千歳地区水道事業通水式（Ｈ元事業完了）
平成元（1989）年 ２月14日　道央テクノポリス開発計画承認（全国26番目）
３月１日　戸長役場開庁110年記念式
５月１日　たんぽぽ夜間保育園開園
13日　おさつ駅前土地区画整理事業起工式
21日　市議会議員選挙
６月２日　コリアンエアー　ソウル線定期便就航
６日　北海道横断自動車道千歳－夕張間杭打ち式
28日　北海道さけますふ化場千歳支場新庁舎落成
７月８日　新千歳空港ターミナルビル新築工事起工式
９月11日　第44回国民体育大会石狩支庁管内大会旗・炬火リレー採火式（支笏湖畔）
18～21日　第44回国民体育大会野球競技会
10月　青空公園「ふれあいセンター」完成
21日　名水ふれあい公園開園
28日　「開基」110年記念式典挙行
30日　千歳・アンカレジ市姉妹都市提携20周年記念式
11月４日　ＪＲ長都駅西口構外待合室寄付採納　ＪＲ長都駅前広場待合室竣工
12月１日　消防署西出張所開所
13日　東千歳地区水道事業竣工
２（1990）年 ２月２日　廃棄物焼却処理施設完成
26日　東千歳へき地保育所改築落成
28日　蘭越生活館改築竣工
３月31日　航空自衛隊第３高射群改編・ナイキシステムからペトリオットシステムへ換装完了
航空自衛隊第３移動通信隊新設（千歳基地）
７月２日　コンチネンタル航空（現・ユナイテッド航空）　グアム・サイパン線定期便就航（Ｈ30・１・15運休）
８月１日　支笏湖小学校環境庁長官賞受賞
北海道地価監視区域指定
３～５日　全国障害者問題研究会第24回全国大会
８日　「おはよう橋」開通（ふるさと創生事業）
11日　第１回北海道ビールまつり・イン・ちとせ開催
14日　国際航空貨物取扱施設竣工
９月９日　道央恵庭地区圃場整備事業完成記念式
10月28日　キャセイ・パシフィック航空　香港線定期便就航（Ｈ10・10・24運休→Ｈ13・12・２再開）
11月29日　千歳美々ワールド設立（Ｈ11・８・27解散決議・千歳市土地開発公社事業承継）
30日　陸上自衛隊第７師団司令部庁舎竣工

平成２（1990）年 11月30日　国営千歳地区直轄明渠排水事業竣工式
12月６日　航空自衛隊千歳基地200ビル（海軍航空隊司令部庁舎）大規模改修
３（1991）年 ２月１日　千歳市農協・東千歳農協合併　新「千歳市農業協同組合」発足
15日　消防署富丘出張所増改築庁舎落成
３月４日　おさつタウンセンター落成
４月　支笏湖診療所新築移転
１日　千歳市第４期総合計画（Ｈ３～12年度）スタート
20日　中央バス「高速ちとせ号」（千歳市内－札幌）運行
21日　市長選挙（５代市長　東川　孝当選）
市議会議員補欠選挙
５月８日　札幌入国管理局千歳・苫小牧出張所開設
日本道路公団札幌建設局千歳工事事務所新事務所庁舎落成
15日　日本航空　香港－名古屋－新千歳－ニューヨーク線貨物定期便就航（エバーグリーン・インターナショナル機・Ｈ３・11　臨時化・Ｈ５・２運休）
７月15日　グリーンベルト地下駐車場地下連絡通路開通式
20日　市民憲章ブロンズ像完成
８月１日　消防支笏湖温泉分遣所、出張所昇格
済州道姉妹提携10周年記念交流訪問団出発
９月７日　千歳霊園経営許可（11・３分譲開始）
14日　市役所庁舎等土曜閉庁制実施（毎月第２・第４土曜日）
22日　千歳航空少年団結団式
10月１日　泉沢向陽台証明事務取扱所開設（消防署向陽台出張所内）
第５回ツール・ド・北海道第１ステージスタート
７日　新千歳空港輸入食品届出窓口開設
16日　日本ユニバーサル航空就航（国内貨物専用・Ｈ４・９休止）
22日　航空自衛隊Ｆ―15Ｊ型戦闘機標的曳航ワイヤー切断ミス事故　民家・工場・架線等被害（第２航空団）
28日　青葉公園冒険の森開設
30日　人口８万人突破
11月３日　千歳霊園永代貸付開始
25日　千歳長都駅前郵便局開設
12月７日　向陽台警察官派出所（現・向陽台交番）開設
10日　北桜コミュニティセンター開設
４（1992）年 ２月１日　新千歳空港簡易ガス事業火入れ式・供給開始
千歳川取水施設取水開始
３日　日本航空　ホノルル線定期便就航再開（ＪＡＺ／H15・９・30運休）
３月１日　暢寿園デイサービスセンター開設
17日　道央自動車道、186台多重衝突事故発生（長都川橋付近）
27日　陸上自衛隊第１地対艦ミサイル連隊創設
５月11～15日　国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議（国連フォーラム）
７月１日　新千歳空港ターミナルビル供用開始・新千歳空港駅開業・新千歳空港内郵便局開局
ハートピアショップ「るぴなす」（新千歳空港ビル内）開店（H16・３・31閉店）
17日　消防創設70周年記念式典
８月５・６日　第34回自然公園大会開催（支笏湖・モラップ）
６～８日　全国水環境保全市町村連絡協議会（名水シンポジウム）
９月13日　全日本「第９を歌う会」千歳演奏会
21日　泉郷開拓100年記念式典
30日　道央自動車・札樽自動車道連結（札幌ＪＣＴ）
千歳市防災訓練（青葉運動場）
10月27日　カンタス・オーストラリア航空　ケアンズ線定期便就航（H10・３・31運休）
11月３日　第１回千歳市民文化賞・文化奨励賞贈呈式

平成５（1993）年 ３月　　中央小学校閉校式
１日　新千歳空港24時間運用第１回テストフライト（３・１、９、21）
10日　㈶千歳市体育協会設立（H25・４・１公益財団法人）
４月１日　情報公開制度スタート
17日　北海道エアロポリス・プロジェクト・プレゼンテーション開催
５月23日　オール北海道オープンアーチェリー大会開催
30日　市議会議員選挙
６月１日　開基記念総合武道館開館
航空自衛隊特別航空輸送隊編成完結（千歳基地）
７月20日　新千歳空港24時間運用第２回テストフライト（７・20、27、８・３）
22日　東千歳調理場閉所式
８月８日　第26回全日本少林寺流空手道全国選手権大会
17日　千歳・苫小牧地方拠点都市地域指定
22日　第27回全日本医科学生体育大会準硬式野球大会開催
25日　おさつ駅前土地区画整理事業竣工記念式典
９月20日　北海第１号ブロンズ除幕式（空港広場）
10月12日　第26回全国昭和市長会開催
26日　麻薬・覚醒剤禍撲滅運動北海道大会開催
11月１日　支笏湖ヒメマス移植100年・養殖ヒメマス出荷10周年記念事業開催
６（1994）年 ２月９日　総合武道館・北海道赤レンガ建築賞受賞
14日　美々プロジェクト起工式
３月29日　北海道エアフロント開発創立総会（H11・４・１解散）
４月　　北陽小学校開校
２日　市立総合病院泉郷診療所新築移転
８日　消防緊急通信指令施設運用開始
15日　鹿児島県指宿市と姉妹都市提携盟約調印
19日　市営牧場新築移転（駒里）
５月22日　市議会議員補欠選挙
６月　　防衛庁技術研究本部東千歳地区空力維持研究施設開所
23日　新千歳空港24時間運用開始（国内初）
30日　新千歳空港深夜早朝便初就航
７月９日　全道信用組合野球大会開催
25～29日　国際民間航空機関航空運送政策セミナー開催
８月20日　第24回全国中学校選抜剣道大会開催
９月７日　流通業務団地造成起工式
10日　千歳サケのふるさと館開館
12月５日　北海道さけますふ化場千歳支場「さけの里ふれあい広場」開設
17日　ＪＲ長都駅跨線橋（自由通路－おさつスカイロード）供用
18日　第21回全道自衛隊剣道大会開催
７（1995）年 １月18日　北海道総合在宅ケア事業団千歳訪問看護ステーション開所
２月１日　千歳福祉サービス公社設立（H25・３・31解散、社協に統合）
３月17日　千歳ワールド・マーケット・プレイスＮＥＷＳ開業（H10・３・31閉鎖）
31日　マルチメディア情報センター開設（H15・９・30閉鎖）
４月　　北海道千歳リハビリテーション学院（現・北海道千歳リハビリテーション大学）開校
15日　市民ギャラリー落成
23日　市長選挙（５代市長　東川　孝再選）
市議会議員補欠選挙
５月25日　ガスパイプライン千歳市内ルート合意
６月27日　航空自衛隊千歳管制隊新ラプコン落成
７月１日　第18回全日本学生軟式野球選手権大会
４日　ホトニクスバレー講演・説明会
８月23日　千歳命名190年シンポジウム「江戸時代にみる千歳の風景」
９月１日　東京事務所開設（千代田区平河町）（H17・３閉所）
10月１日　個人情報保護制度スタート

平成７（1995）年 10月２日　向陽台支所開設
新周堤墓発見（中央キウス４遺跡）
14日　ヒメマスフォーラム開催
17日　人口８万５千人突破
21日　第36回全日本初生雛雄雌鑑別選手権大会
12月　インディアン水車サケ捕獲過去最多（55万尾／年）
18日　千歳警察署住吉交番開所
８（1996）年 ２月29日　北海道砂利採取連絡協議会設立
３月19日　ガスパイプライン（勇払－札幌）竣工
26日　㈶千歳科学技術大学設立準備財団許可
29日　陸上自衛隊北千歳駐屯地129特科大隊新編完結
４月１日　ひので児童館開設
26日　新千歳空港Ｂ滑走路供用
５月29日　千歳・苫小牧・恵庭－災害時広域「相互応援協定」締結
６月４日　皇太子同妃殿下、千歳サケのふるさと館御視察
７月　青葉陸上競技場改修完成
（全天候型青色ウレタン走路－全国２番・道内初）
４日　千歳・新千歳空港乗降客数２億４千万人突破
18日　千歳オフィス・アルカディア起工式
８月17日　第24回北海道青年祭開催
９月20日　スカイフェスタ　ニューチトセ　96（空の日）
21日　千歳飛行場を造った村民顕彰の碑除幕式
10月16日　石油資源開発㈱基礎試錐「馬追」開坑式（泉郷）
22日　千歳線開通・千歳空港開港70年記念式典、市民フォーラム
11月１日　市の魚を制定（ヒメマス・サケ）
５日　インディアン水車設置100年記念特別講演開催
15日　国際農業シンポジウム開催
12月２日　千歳科学技術大学建設工事起工式
９（1997）年 2月4~7日　ＥＳＣＡＰ（国際連合アジア太平洋経済社会委員会）調整グループ会合開催
４月　泉沢小学校開校
１日　北コミュニティセンター開設
消防署祝梅出張所開設
在宅福祉総合センター「ほっとす」開設
５月25日　市議会議員選挙
６月１日　市営ガス事業譲渡（北海道ガス・５・20認可）
市民文化センター証明事務取扱所開設（H16・３・31閉鎖）
８月９・10日　第１回北海道スカイ＆ビアフェスタちとせ開催（ビールまつり＋空港まつり）
25日　千歳市防災総合訓練（臨空工業団地内）
10月１日　市指定ごみ袋導入
29日　ＫＬＭオランダ航空　アムステルダム線定期便就航（H14・２・１運休）
11月22日　「山線鉄橋」（旧王子軽便鉄道千歳川鉄橋）解体修復完了・開通式
12月２・３日　支笏湖・東部支所開設50周年を祝う会
10（1998）年 ３月27日　通信・放送機構「千歳ホトニクスリサーチセンター」開設
28日　北海道エアシステム（ＨＡＣ）就航（H23・６・11撤退）
30日　新葬斎場完成
４月１日　しなの児童館開設
11日　千歳科学技術大学第１回入学式
５月11日　ジェイ・エア　就航
６月８日　千歳郵便局新築移転（千歳駅前）
28日　チャイナ・ノーザン航空（現・チャイナ・サザン航空）瀋陽線定期便就航（H24・９・１運休）
７月20日　温水プール落成
30日　ビア・ワークスちとせ落成
８月11日　千歳市支笏湖ヒメマスふ化場開設（水産庁より譲渡）

平成10（1998）年 10月５日　千歳ヤマセミ郵便局開局
12～15日　第４回先端有機ホトニクス物資と応用に関する国際会議（ＩＣＯＮＯ'４）開催
19日　自衛隊札幌地方連絡部千歳募集事務所新築事務所開き
22日　商店街振興組合連合会創立20周年記念式典
12月１日　ペデストリアンデッキ（南千歳駅南口）開通
14日　千歳駅エレベーター・エスカレーター完成
20日　北海道国際航空（現・ＡＩＲＤＯ）就航
11（1999）年 ２月28日　ちとせデパート営業終了（自己破産）
３月１日　戸長役場開庁120年記念式（市民ホール）
25日　道央圏連絡道路新千歳空港―日の出ランプ間供用
26日　千歳市地域振興券利用開始（～９・30）
４月１日　中央コミュニティセンター開設
アリス保育園開園（併設・地域子育て支援センター）
16日　千歳信用組合経営不振・事業譲渡決定（専和信用組合）
24日　スカイマーク・エアラインズ（現・スカイマーク）就航（H12・６・30運休→H18・４・28再開）
25日　市長選挙（無投票／５代市長　東川　孝再選）
５月６日　千歳いずみ学園祝梅分場開設
７月10日　支笏洞爺国立公園指定50周年記念フォーラム
17・18日　YOSAKOIソーランちとせトーナメント祭
30日　千歳川放水路計画中止決定
千歳オフィス・アルカディア竣工式
８月２日　向陽台在宅介護支援センター開所
４日　最高気温33.1度記録（新千歳航空測候所観測史上２位・鉄道一時運行休止）
24日　山線鉄橋、市有形文化財指定
10月１日　千歳命名195年・開庁120年記念式典
千歳・アンカレジ姉妹都市提携30周年記念式典
７日　道東自動車道千歳恵庭ＪＣＴ－夕張ＩＣ間開通
12・13日　千歳光科学国際フォーラム
11月６日　道立千歳高等学校創立50周年・新校舎落成記念式典
15日　札幌東公共職業安定所千歳出張所移転
29日　千歳東郊郵便局開局
12月13日　北央信用組合営業開始（旧・専和信用組合）
12（2000）年 ４月１日　祝梅在宅福祉センター「祝梅ほっとす」開設
千歳市福祉共同作業所「ほほえみ」開所
ほくおう児童館開館
26日　支笏湖美化センター開館
５月８日　人口８万８千８百人突破
７月28日　東日本電信電話㈱千歳営業所廃止
９月５～８日　光メモリ国際シンポジウム（ＩＳＯＭ）開催
15・16日　全国生涯学習まちづくりフォーラム開催
28日　中央バス「支笏湖バスターミナル」営業終了
10月２日　気象庁ドップラーレーダー完成（新千歳空港）
24日　デジタルシティ千歳会議開催
31日　ゆうまいタウンプラザ竣工（11・１イトーヨーカドー千歳店開店）
12月31日　ちとせ21世紀カウントダウンフェスティバル開催
13（2001）年 ２月１日　道央農業協同組合発足（千歳・恵庭・北広島・江別・野幌農協合併）
２月12日　支笏湖結氷（湖水開き一週間延期）
４月１日　千歳市新長期総合計画（H13～22年度）スタート
千歳オフィス・アルカディア「千歳アルカディア・プラザ」開業
ごみ収集業務民間委託祝祭日収集開始
２日　水道局新庁舎開庁（東雲町３丁目）
消防署支笏湖温泉出張所新築移転
５月20日　市議会議員選挙
６月５日　苔の洞門岩盤崩落全面閉鎖

平成13（2001）年 7月22日　サハリン航空（現・オーロラ航空）　ユジノサハリンスク線定期便就航
8月1日　チャイナ・ノースウエスト航空（現・チャイナ・イースタン航空）上海線定期便就航
9月7日　第2回千歳光科学国際フォーラム開催
12～14日　第25回赤十字北海道大会開催
10月1日　しゅくばい児童館開館
26日　千歳空港開港75周年・民間航空再開50周年記念式典
14（2002）年 2月20日　千歳市ＩＳＯ１４００１認証取得（～H18・2）
3月　道央圏連絡道路国道36号－日の出ランプ間供用
2日　千歳医師会看護高等専修学校閉校
16日　千歳科学技術大学第1回卒業式
25日　市立市民病院本体施設竣工
27日　陸上自衛隊第7化学防護隊創隊
4月1日　千歳科学技術大学大学院（修士課程）開設
千歳市ファミリー・サポート・センター開設（8・1サービス開始）
3日　せいりゅう児童館開館
5月29日　都市ガス－天然ガス化完了（北海道ガス）
7月9～11日　ＩＴＵ－Ｔ（国際電気通信連合）国際会議
9月1日　市立千歳市民病院開院
2日　循環型コミュニティバス（通称ビーバス）運行開始
26日　人口9万人突破
10月22日　北海第1号操縦士、酒井憲次郎飛行士のブロンズ像除幕式
12月10日　千歳こどもデイケアルーム開設（市民病院敷地内）
15（2003）年 1月24日　第1回千歳川光と氷のオブジェ開催（～2・3）
3月25日　道央圏連絡道路日の出－寿ランプ間供用
30日　エバー航空　台北線定期便就航
4月1日　下水道汚泥処理施設「スラッジセンター」供用
27日　市長選挙（6代市長　山口　幸太郎当選）
市議会議員補欠選挙
8月1日　おさつジャンボバス運航開始
31日　日本航空機製造YS－11型機民航ラストフライト（エアーニッポン女満別線）
9月1日　障害者総合支援センター開設
12月5日　深夜貨物定期便就航（全日空新千歳－羽田）
16（2004）年 4月1日　千歳駅前大型商業施設「ペウレ千歳」開業（千歳駅バスターミナル機能供用開始・千歳駅市民サービスセンター開設（H31・4・30閉鎖））
いずみさわ児童館開館
市庁舎全面禁煙
5月1日　特別養護老人ホーム「やまとの里」開設
6月21日　JTC1/SC 25千歳会議開催（情報技術機器の相互接続の標準化）
10月11日　長春市友好親善都市合意調印
17（2005）年 1月30日　千歳命名200年記念事業　千歳市民劇「シコツ越え」開催
3月12日　千歳タウンプラザ（旧・エスプラザ）開業
15日　支笏湖青少年研修センター閉所
20日　長都小・中学校閉校
4月1日　水防センター開設
つくし保育園開設
29日　千歳アウトレットモール・レラ開業
5月29日　市議会議員選挙
30日　住民参加型ミニ市場公募債「千歳命名200年記念債」発行
31日　千歳市駒里農業協同組合設立認可
6月2日　道央農業振興公社設立
25日　道の駅「サーモンパーク千歳」オープン
7月6日　北海道競馬場外発売所「Aiba千歳」開所
9月6日　航空自衛隊第2航空団所属Ｆ－15Ｊ型戦闘機空中接触（積丹上空）
10月　社会福祉協議会事務所新築移転（旧・市立総合病院看護婦宿舎位置）
1日　エアトランセ　就航（H19・3・31撤退）
11月9日　山三ふじや創業100年記念祝賀会開催

平成18（2006）年	2月20日	千歳市環境マネジメントシステムISO14001自己適合宣言
	4月1日	地域支援包括センター新設（新富ほっとす内）市内に4ブランチ設置
		職安千歳出張所、千歳公共職業安定所に昇格
		支笏湖動力船規制要綱発表
	7日	市民文化センターリニューアルオープン
	5月1日	家庭ごみの有料化実施
	6月1日	コリアンエアー　釜山線定期便就航
	7月1日	チャイナエアライン　台北線定期便就航
	15～17日	第1回スカイ・ビア＆YOSAKOI祭（スカイ＆ビアフェスタ＋YOSAKOIソーランちとせトーナメント祭）
	8月1日	市民活動交流センター「ミナクール」開設
	10月23日	千歳空港開港80年記念（献花式）
	この年	新千歳－羽田間航空路線年間乗降客数1千万人突破（年間1,014万2,091人）
19（2007）年	4月1日	市社会教育施設　指定管理者に運営移管始まる
	4日	ギャラクシーエアラインズ（貨物専用）就航（H20・10・6事業廃止）
	18日	エアチャイナ　北京線定期便就航
	20日	千歳アウトレットモール・レラ2期拡張オープン
	22日	市長選挙（無投票／6代市長　山口　幸太郎再選）
	5月2日	チャイナ・サザン航空　大連線定期便就航
	6月26日	天皇皇后両陛下、千歳サケのふるさと館御視察
	7月2日	市役所、旅券窓口開設
	11月	支笏湖漁業組合設立
20（2008）年	2月23・24日	長都地区暴風雪害　第7師団災害派遣・車両約50台救出等
	25～28日	在日米軍再編に伴う訓練移転初回実施（米海兵隊岩国FA－18×4）
	4月1日	子育て総合支援センター「ちとせっこセンター」開設（ちとせっこ児童館等併設）
		千歳保育所が民営化され千歳春日保育園になる
	24日	空港公園オープン（柏台南）
	7月1～10日	ジュニア・エイトサミット2008千歳支笏湖開催
	13日	市制施行50周年記念メインイベント（「第九」合唱演奏会）開催
	9月7日	市制施行50周年記念式典
	11月1・2日	世界ラリー選手権（WRC）第14戦ラリージャパン開催
21（2009）年	2月28日	イトーヨーカドー千歳店（ゆうまいタウンプラザ）閉店
	3月2日	戸長役場開庁130年記念式
	30日	千歳市開拓農業協同組合解散
	4月24日	スーパーアークス長都店（ちとせモール（旧・ゆうまいタウンプラザ））開店
	5月31日	市議会議員選挙
	7月27日	千歳・アンカレジ姉妹都市提携40周年記念式
	8月1・2日	支笏洞爺国立公園指定60周年記念事業開催
	24～28日	世界一周機「ニッポン」千歳出発70周年記念パネル展開催
	9月11日	支笏湖自然保護官事務所改築開所式
	15日	千歳命名205年・開庁130年記念事業「千歳の歴史写真展」開催
22（2010）年	3月19日	『新千歳市史　通史編　上巻』刊行
	26日	新千歳空港国際線旅客ターミナルビル供用開始
	4月1日	ほくよう児童館開館
		埋蔵文化財センター　長都移転（展示室等開設／旧・長都小中学校）
		フジドリームエアラインズ就航
	24日	防災学習交流センター「そなえーる」開設
	5月22・23日	第12回日中韓三カ国環境大臣会合開催
	7月1日	エアーニッポン就航（丘珠から移転）
	12月18日	道央圏連絡道路　寿－中央ランプ間供用
	28日	サハリン航空（現・オーロラ航空）　ハバロフスク線定期便就航（H23・3・27運休）
23（2011）年	2月29日	日本航空ジャンボ・ボーイング747－400D型機ラストフライト（退役ツアー）
	3月12日	3・11東日本大震災　千歳市災害対策本部設置

平成23（2011）年 4月　全国瞬時警報システム－ジェイ・アラート運用開始
1日　第６期総合計画（H23～32年度）スタート
ちとせ環境と緑の財団発足（環境保全公社＋緑化協会／H25・４・１公益財団法人）
24日　市長選挙（無投票／６代市長　山口　幸太郎再選）
市議会議員補欠選挙
5月5日　イースター航空（LCC＝格安航空）ソウル線定期便就航
6月1日　ホテル日航千歳売却　ホテルグランテラス千歳となる
7月1日　防災学習交流施設「防災の森」オープン
千歳市内ハイヤー・タクシー全面禁煙（全国最後）
15日　ジンエアー（LCC）ソウル線定期便就航
新千歳空港国内線旅客ターミナル商業施設リニューアルオープン
8月11日　観測史上最高気温34.2度記録（新千歳航空測候所）
31日　人口全道10位達成94,390人（室蘭市94,104人抜く）
9月9日　天皇陛下　千歳市役所行幸
24（2012）年 2月19日　第１回ちとせ・まち魅力検定実施（『要覧ちとせ』から出題）
3月1日　ピーチ・アビエーション（LCC）就航
23日　真町中学校閉校式
4月　勇舞中学校開校
1日　真々地保育所が民営化、あずさつくし保育園として移転開園
7月3日　ジェットスター・ジャパン（LCC・日本航空系）就航
10日　千歳警察署支笏湖駐在所改築開所式
8月1日　エアアジア・ジャパン（LCC・ＡＮＡ系／ＷＡＪ）就航（H25・10・26ＡＮＡ提携解消・運航終了→バニラ・エアへ社名変更）
9月4日　トランスアジア航空（H28・11・22解散決議）　台北線定期便就航（同日運休）
10月28日　ＡＮＡボーイング787型機就航（ＡＮＡ・日航　H25・１・16～５・25運航停止）
31日　タイエア　バンコク線定期便就航
ハワイアン航空　ホノルル線定期便就航
11月1日　花園コミュニティセンター　開設
3日　航空自衛隊千歳チーム　第38回社会人野球日本選手権初出場（京セラドーム大阪）
12月9日　新千歳空港国際線年間出入国者数100万人突破（年間107万9,400人）
11日　キウス周堤墓群「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」世界文化遺産候補構成資産に追加（縄文遺跡群世界遺産登録推進本部）
25（2013）年 1月　真冬日連続23日記録（アメダス観測史上第１位）月間真冬日28日
3月5日　支笏湖温泉第２泉源湧出（ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物温泉／動力揚水33.2度）
4月　北海道千歳高等支援学校開校
1日　社会福祉協議会　福祉サービス公社事業継承
30日　人口９万５千人突破（95,094人）
5月11・12日　第１回グリーンベルトはるまつり開催（グリーンベルト芝生公園・千歳川河畔公園）
26日　市議会議員選挙（史上初無投票）
7月10日　広報「ちとせ」発刊1000号（S26創刊）
20日　「千歳民報」創刊50周年（S38創刊／苫小牧民報社）
8月3日　道央自動車道　新千歳空港インターチェンジ開業
10月1日　市消防本部ほか管内６消防本部－消防救急デジタル無線システム運用開始
12月23日　ティーウェイ航空（LCC）ソウル線定期便就航
26（2014）年 1月28日　チャイナ・サザン航空　広州線定期便就航（H26・３運休）
バニラ・エア（LCC・ＡＮＡ系（旧ＷＡＪ）現・ピーチ・アビエーション）就航
2月25・27日　越冬エゾシカ学術捕獲実施／銃器使用＋国道閉鎖－全国初
（国道453号（旧・支笏湖畔有料道路北側斜面）／酪農学園大ほか）
3月27日　北新子育て支援センター「げんきっこセンター」開館
希望が丘児童館開館
30日　ＡＮＡジャンボ・ボーイング747－400Ｄ型機退役フライト（ＮH74）
31日　千歳市土地開発公社解散

平成26（2014）年 4月1日　全国コンビニエンスストア市税等収納サービス開始
市営住宅窓口センター開設（指定管理－管理・入退去・収納業務等委託）
10日　しあわせサポートセンター開所（介護予防センター、更生保護サポートセンターほか入居）
13日　支笏湖温泉第２泉源配湯（第１泉源廃泉）
19日　「ダイナックスアリーナ（スポーツセンター）」リニューアルオープン（ネーミングライツスポンサー＝ダイナックス（H26・3・28調印））
5月12日　千歳青年会議所創立50周年記念式典（S39・5・10設立）
6月～8月　支笏湖ヒメマス釣果最多記録（解禁期間）15万8,741尾
7月21日　姉妹都市提携20周年を記念して指宿市から天然記念物・池田湖大うなぎ贈られる（「いぶりん」と命名し展示＝サケのふるさと千歳水族館）
28日　養護老人ホーム千寿園移転新築落成記念式典（８・１開所）（大和４丁目）
8月9日　航空自衛隊千歳管制隊無事故管制500万回達成（S37・1・1米空軍移管～）
9月11・12日　支笏湖地区集中豪雨（11日午前５時35分大雨特別警報発令／支笏湖地区住民に避難勧告、土石流により国道453号不通、美笛キャンプ場封鎖など）
市街－インディアン水車水没
10月1日　市民文化センター・ネーミングライツ「北ガス文化ホール」（ネーミングライツスポンサー＝北海道瓦斯（H26・９・25調印））
26日　スプリング航空（LCC）上海線定期便就航
11月20日　北海道国際航空（エア・ドゥ）国際チャーター便初運航（新千歳－台北）
12月19日　支笏湖ヒメマスふ化場改築落成（12・25開場式／旧施設解体H26・6・26）
ホンコン航空　香港線定期便就航
27（2015）年 2月1日　チャイナエアライン　高雄線定期便就航
17日　千歳公民館、文部科学省第67回優良公民館表彰受賞
18日　新千歳空港深夜早朝発着枠30回を苫小牧市地域協議会基本合意
3月7日　夕張シューパロダム竣工式（夕張市ゆうばり文化スポーツセンター）
29日　ティエンジン航空　天津線定期便就航
4月1日　石狩東部広域水道企業団千歳川浄水場供用（３・31通水式、供給先４市１町１企業団）
市立末広・北栄保育所廃止、幼保連携型認定こども園新設（市立２園、私立５園）
北海道空港、新千歳空港ロジスティクスセンター分譲開始（H25・11・15造成着手）
ふるさと千歳ナンバープレート（デザイン＝擬人化飛行機）、原付自転車などに交付開始
26日　市長選挙（無投票／６代市長　山口　幸太郎再選）
市議会議員補欠選挙
5月1日　合葬墓「千縁塚」埋葬始まる（末広第一霊園）
2日　エアアジアＸ（LCC）バンコク線定期便就航（代替運航＝マレーシア・エアアジアＸ）
16日　薬用作物集出荷貯蔵施設竣工（日本初／ＪＡ道央）
7月1日　千歳プレミアム付商品券発売開始
25日　千歳サケのふるさと館がサケのふるさと千歳水族館としてリニューアルオープン
8月8日　道の駅サーモンパーク千歳リニューアルオープン
24日　東川　孝　前千歳市長死去市葬執行（8/18逝去）
9月29日　製造品出荷額全道第４位（苫小牧・室蘭・札幌・千歳）平成26年工業統計調査速報値
10月1日　エアアジアＸ（LCC）クアラルンプール線定期便就航
15日　新千歳空港深夜早朝時間帯発着枠拡大（６便→30便・8/22地元合意）
28日　航空自衛隊第３高射群　地対空誘導弾ペトリオット（PAC3）を配備
11月12日　千歳市の自衛隊を支える中央大会開催（東京都千代田区砂防会館106人出席）
第40回土地区画整理全国大会（広島市）おさつ駅みどり台土地区画整理組合最高賞受賞

平成27（2015）年 12月３日　エアプサン（LCC）プサン線定期便就航
30日　支笏湖丸駒温泉旅館創業100年
28（2016）年 ２月６日　千歳市町内会連合会設立50周年記念式典
17日　平成27年国勢調査速報値　人口95,664人（対前回比2.2％増）
人口増加数全道第２位、人口増加率市部全道１位
23日　日本航空機・航空事故（福岡行ボーイング737／左エンジン発煙→機内流入→緊急脱出・原因＝着氷による不完全燃焼）
４月６日　デマンドバス「心－ふれあいバスおおぞら号」運行開始（長都・中長都・釜加）
５月１日　人口９万６千人突破（96,230人）
７月１日　アシアナ航空　ソウル線定期便就航
ペウレ千歳　「千歳ステーションプラザ」に名称変更
20日　チェジュ航空（LCC）ソウル線定期便就航
８月20日　スプリングジャパン（LCC）成田線定期便就航
９月26日　国産初小型ジェット旅客機ＭＲＪ初飛来
10月１日　市内バス路線再編
スクート（LCC）シンガポール線定期便就航
７日　千歳空港開港90周年記念　毛利　衛　宇宙飛行士特別講演会
12月25日　エアプサン（LCC）大邱線定期便就航
29（2017）年 ２月１日　コンビニ交付サービス開始（住民票、印鑑登録証明書など）
３月26日　フジドリームエアラインズ　山形線定期便就航
中国東方航空　南京線定期便就航
海南航空　杭州線・長沙線就航（H29・９・５運休）
４月１日　第２住吉保育園開設
北海道千歳リハビリテーション大学開学
上海吉祥航空　上海線定期便就航
５月28日　市議会議員選挙（女性過去最多６名当選）
８月８日　道の駅サーモンパーク千歳年間来場者数100万人突破（1,016,309人）
９月５日　千歳市休日夜間急病センター（ささえーる）診療開始
24日　ピーチ・アビエーション（LCC）台北線定期便就航
10月29日　エアアジア・ジャパン（LCC）中部線定期便就航
12月26日　支笏湖が2016年公共用水域水質測定結果で湖沼の部連続10年第１位
この年　路線別旅客数で新千歳－羽田が国際197路線で最多の905万1,293人
30（2018）年 ３月25日　アイベックスエアラインズ松山線定期便就航
４月１日　ちとせスマイル保育園開設
認定こども園おひさま開設
11日　エアアジアX（LCC）バンコク線定期便就航
18日　「千歳市人口ビジョン・総合戦略～みんなで97,000プロジェクト～」（平成28年３月策定）における目標人口９万７千人達成（97,012人）
５月８日　イースター航空（LCC）釜山線就航
７月２日　市制施行60周年記念式
９月６日　北海道胆振東部地震発生（午前３時７分頃）（安平町で震度６強）
10月29日　イースター航空（LCC）清州線定期便就航（R元・９・５運休）
11月26日　エアソウル（LCC）仁川線就航
12月　支笏湖が2017年公共用水域水質測定結果で湖沼の部連続11年第１位
７日　フィリピン航空　マニラ線定期便就航
21日　ウラル航空　ウラジオストク線定期便就航
31（2019）年 ２月12日　市役所第２庁舎開庁
３月１日　千歳命名215年・戸長役場開庁140年記念式
23日　マリンド・エア　クアラルンプール線就航
26日　陸上自衛隊第102弾薬大隊新編
28日　『新千歳市史　通史編　下巻』刊行
29日　札幌市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約締結
４月　公立千歳科学技術大学開学
１日　あんじゅ認定こども園開園
21日　市長選挙（無投票／６代市長　山口　幸太郎再選）

令和元（2019）年	8月30日	千歳市と恵庭市の連携施策の充実拡大に関する覚書の締結
	9月4日	千歳・アンカレジ市姉妹都市提携50周年記念式
	10月23日	千歳市成年後見支援センター開設
	11月1日	深圳航空　無錫線定期便就航
	29日	山東航空　青島線定期便就航
	12月16日	フィンランド航空　ヘルシンキ線定期便就航
		カンタス航空　シドニー線定期便就航
2（2020）年	1月14日	厦門航空　福州線定期便就航
	15日	北海道エアポートによる新千歳空港ターミナルビル経営開始
	17日	四川航空　成都線定期便就航
	3月26日	陸上自衛隊訓練評価支援隊新編
		新型コロナウイルスの影響により、新千歳空港国際線定期便全便運休
	4月1日	あさ陽認定こども園開園
		千歳市こども通園センターを千歳市児童発達支援センターに変更
	6月1日	北海道エアポートによる新千歳空港運営事業開始
3（2021）年	1月19日	新千歳空港年別乗降客数929万7,546人（対前年比62.2％減。34年ぶりに1,000万人を下回る）
	4月1日	第7期総合計画（R3～12年度）スタート
	5月30日	市議会議員選挙
	7月27日	キウス周堤墓群を構成資産に含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産登録
	11月1日	千歳市指定障害児相談支援事業所を千歳市こども相談支援室（愛称「あーち」）に名称変更
		千歳市こども発達相談室に愛称「はぐ」を追加
	11月30日	令和2年国勢調査確報値97,950人（対前回比2.4％増）
		人口増加数全道第2位、人口増加率市部全道1位
4（2022）年	4月	みどり台小学校開校
	1日	みどり台児童館開館
	5月1日	交通安全教育施設「交通公園」リニューアルオープン
	7月17日	2年4か月ぶりの国際線定期便となる大韓航空　ソウル線定期便再開
	10月16日	タイガーエア　台北線定期便就航
	28日	スターラックス航空　台北線定期便就航
5（2023）年	4月23日	市長選挙（無投票／7代市長　横田　隆一当選）
		市議会議員補欠選挙
6（2024）年	1月18日	深圳航空　深圳線定期便就航
	4月	学校法人日本航空学園日本航空高等学校北海道開校
	1日	民間児童発達支援センター道内3ヵ所目のちとせ児童発達支援センターはる開設
	11月28日	エアロK　清州線定期便就航
	12月17日	タイベトジェットエア　バンコク線定期便就航
	12月28日	北京首都航空　北京大興線定期便就航
7（2025）年	1月16日	セブパシフィック航空　マニラ線定期便就航
	4月25日	史跡キウス周堤墓群ガイダンスセンター開館
	6月15日	タイ・エアアジア　チェンマイ線定期便就航
	10月26日	ティーウェイ航空　釜山線定期便就航
	12月1日	タイ・ライオン・エア　ドンムアン線定期便就航
	12月17日	グレーターベイ航空　香港線定期便就航
8（2026）年	1月20日	新千歳空港年別乗降客数2,583万6,515人（対前年比107.8％）で年別過去最高
		＝国内線2,149万3,654人（105.2％）＋国際線434万2,861人（123.2％）
	4月21日	新千歳空港年度別乗降客数2,601万5,370人（対前年度比104.8％）で年度別過去最高
		＝国内線2,148万7,467人（102.6％）＋国際線452万7,903人（116.8％）

1　平成9年から千歳市は「開基」を「千歳命名○○年・開庁○○年」に改称したが、過去に実施した事業名までは変更していない

総務課

2　事業年表

(1) 泉沢開発事業

昭和45（1970）年９月	泉沢地域634haを11億７千万円で江別市から買収
47（1972）年12月	千歳市土地開発公社設立
49（1974）年６月	市議会議員協議会に基本構想の検討を報告
51（1976）年２月	市議会議員協議会に基本計画書を提出
３月	市議会「中核的工業団地造成に関する要望意見書」議決
52（1977）年７月	市議会「泉沢土地利用問題特別委員会」設置
９月	泉沢開発プロジェクトチーム「千歳市の将来と泉沢」発刊
53（1978）年６月	泉沢地区市街化区域編入
	住宅金融公庫宅地造成資金融資に係る計画承認
７月	工事中の防災措置に関する計画承認
８月	住宅地名称を「泉沢向陽台」に決定
	開発行為許可（都市計画法第29条）
	泉沢開発着工式挙行
53（1978）年10月	住宅地造成工事発注　一般分譲地予約受付開始
54（1979）年３月	市議会「泉沢地域開発等特別委員会」設置
10月	千歳臨空工業団地造成開始
11月	開村式挙行
56（1981）年４月	千歳臨空工業団地販売開始
57（1982）年４月	向陽台小学校開校
59（1984）年４月	向陽台保育園開園
７月	北海道電力臨空工業団地内変電所供給開始（６万６千ＫＶＡ）
８月	泉沢地区（２期住宅地）市街化区域編入
10月	千歳市消防署向陽台出張所完成
11月	全天候型テニスコート（３面）完成
60（1985）年３月	泉沢向陽台コミュニティ協議会発足
７月	向陽台水泳プール完成
９月	日本航空大学校千歳校（現・日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパス）誘致決定
11月	千歳市白樺郵便局開局
61（1986）年３月	泉沢開発記念誌〈大いなる挑戦〉完成
４月	第２期計画に伴う環境影響評価書提出
５月	第２期計画に伴う防災協議成立
	泉沢地区（２期工業地）市街化区域編入
	第２期計画に伴う実施設計完成
７月	第２期計画に伴う住宅金融公庫宅地造成資金融資に係る計画承認
８月	第２期計画に伴う環境影響評価書確定告示
	第２期計画に伴う開発行為許可（都市計画法第29条）
10月	第２期開発着工式挙行
12月	第２期都市計画用途地域の変更告示
62（1987）年４月	泉沢向陽台コミュニティセンター完成
	向陽台中学校開校
63（1988）年４月	日本航空学園千歳校（現・日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパス）開校
５月	第２期泉沢向陽台住宅地分譲開始
平成２（1990）年１月	業務施設用地の名称「千歳サイエンスパーク」と決定、分譲開始
３（1991）年４月	向陽台つくし幼稚園開園
12月	向陽台警察官派出所（現・向陽台交番）開設
５（1993）年５月	臨空工業団地に全天候型テニスコート（４面）完成
６（1994）年４月	向陽台公園完成
10月	住宅地文京ニュータウン造成開始
７（1995）年４月	北海道千歳リハビリテーション学院（現・北海道千歳リハビリテーション大学）開校
９月	住宅地文京ニュータウン分譲開始
10月	泉沢自然の森竣工・向臨橋竣工・渡橋式挙行・ハヤブサ公園完成・向陽台支所開設

平成８（1996）年７月　泉沢自然の森キャンプ場オープン
10月　泉沢開発事業最終完了検査
９（1997）年３月　竣工記念誌＜泉沢～森の中の新しい都市＞完成
４月　泉沢小学校開校
10（1998）年７月　泉沢向陽台１万人達成セレモニー実施
10月　泉沢竣工記念事業実施
13（2001）年１月　向陽台病院開院
16（2004）年４月　いずみさわ児童館開館
17（2005）年12月　道道泉沢新千歳空港線　供用開始
25（2013）年８月　道央自動車道新千歳空港インターチェンジ開業
26（2014）年３月　千歳市土地開発公社解散
29（2017）年４月　北海道千歳リハビリテーション大学開学
向陽台ファミリークリニック開院
令和３（2021）年９月　泉沢向陽台住宅地完売
５（2023）年６月　住宅地文京ニュータウン完売

企業振興課

（2）水道事業

昭和27（1952）年４月　水道事業施行議案可決
５月　上水道新設工事認可申請（昭和28年３月認可）
給水人口　22,000人　１人当たり225ℓ／日　最大配水量　4,950㎥／日
計画目標年次　昭和37年度
浄水施設：（春日浄水場）千歳川伏流水
配水施設：高架水槽・自然流下
９月　湖畔地区簡易水道工事施行議案可決
28（1953）年４月　簡易水道布設工事認可申請（昭和28年５月認可）
給水人口　2,000人　１人当たり150ℓ／日　最大配水量　450㎥／日
計画目標年次　昭和43年度
12月　上水道新設工事着手
簡易水道布設工事着手（昭和29年３月完成）
29（1954）年６月　千歳町上水道条例制定
30（1955）年１月　春日浄水場給水開始
32（1957）年12月　創設工事完成　総事業費　87,509千円
36（1961）年12月　第１期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　40,000人　１人当たり250ℓ／日　最大配水量　10,000㎥／日
計画目標年次　昭和46年度
取水施設：内別川取水堰
導水施設：沈砂池、導水管
浄水施設：（蘭越浄水場）緩速ろ過池、塩素滅菌設備、浄水池
送水施設：送水ポンプ室、送水ポンプ、送水管
配水施設：配水管
37（1962）年８月　第１期拡張工事着手
39（1964）年10月　事業変更認可申請（第１期拡張事業変更）　予定事業費　280,000千円
浄水施設：緩速ろ過池から急速ろ過池に変更
配水施設：配水管
12月　蘭越浄水場給水開始
40（1965）年４月　料金改定　上水道36％値上げ
42（1967）年３月　第１期拡張工事完成　総事業費　221,905千円
43（1968）年３月　中央長都地区開拓地に特別給水
44（1969）年３月　第２期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　85,000人　１人当たり400ℓ／日　最大配水量　34,000㎥／日
計画目標年次　昭和58年度　予定事業費　755,000千円
取水施設：内別川取水堰増改造
導水施設：導水管変更

昭和44（1969）年３月　浄水施設：着水井、混和池、急速ろ過池増設、塩素滅菌設備増設
送水施設：送水管増設、送水ポンプ室増設、送水ポンプ変更
配水施設：配水池増設、配水管
８月　第２期拡張工事着手
45（1970）年７月　ナイベツ川原水汚濁防止のため薬品混和池、沈澱池の補修着手（昭和46年12月完成）
46（1971）年10月　長都・釜加地区水道施設工事着手（昭和51年３月完成）
47（1972）年２月　事業変更認可申請（第２期拡張事業変更）
配水人口　85,000万人　１人１日最大給水量　400ℓ／日
１日最大給水量　34,000㎥／日　計画目標年次　昭和58年度
予定事業費　1,170,000千円
浄水施設：混和地変更、フロック形成池、沈殿池
送水施設：送水ポンプ室増設
12月　駒里地区に専用水道利用組合設立、上水道分水
48（1973）年12月　航空自衛隊千歳基地へ分水開始
49（1974）年10月　陸上自衛隊北千歳駐屯地へ分水開始
50（1975）年11月　陸上自衛隊東千歳駐屯地へ分水開始
51（1976）年７月　料金改定　上水道、簡易水道61.76％値上げ
53（1978）年２月　第２期拡張工事事業の一部変更申請・認可
給水人口　68,250人　１人１日最大給水量　498ℓ／日
１日最大給水量　34,000㎥／日　計画目標年次　昭和58年度
事業費継続分　1,670,934千円
新規分　1,099,471千円　} 2,770,405 千円
送水施設：送配水管、泉沢送水ポンプ
配水施設：泉沢高架配水池、駒里配水池（ポンプ）、泉郷配水池（ポンプ）、塩素滅菌設備（駒里、泉郷）
３月　駒里専用水道廃止
４月　支笏湖畔地区簡易水道第１期拡張事業変更申請・認可
給水人口　450人　１人当たり最大給水量　2,888ℓ／日
最大給水量　1,300㎥／日　計画目標年次　昭和62年度
取水施設：深井戸
導水施設：導水ポンプ・導水管
浄水施設：混和池
配水施設：配水池・配水本管
55（1980）年４月　料金改定　簡易水道272.24％値上げ
57（1982）年２月　第３期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　77,400人　１人１日最大給水量　542ℓ／日
１日最大給水量　42,000㎥／日　計画目標年次　昭和60年度
予定事業費　4,347,000千円
取水施設：祝梅川取水井
導水施設：祝梅川集水井
浄水施設：浄水池
送水施設：送水ポンプ増設
配水施設：蘭越配水池増設、上長都高架配水池、配水管
58（1983）年４月　料金改定　上水道45.5％値上げ
12月　上長都高架配水池（球形ＲＣドームＰＣ造　2,034㎥）新設
59（1984）年４月　石狩東部広域水道企業団（漁川浄水場）から受水開始
62（1987）年３月　薬品沈澱池　１池（12,500㎥）築造
第４期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　82,470人　１人１日最大給水量　544ℓ／日
１日最大給水量　44,800㎥／日　計画目標年次　平成４年度
予定事業費　2,676,000千円
浄水施設：フロック形成池増設、沈殿池増設
送水施設：送水ポンプ増設、泉沢送水ポンプ増設、送水管
配水施設：蘭越配水池変更、配水管
63（1988）年７月　東千歳地区水道管布設工事着手（平成元年11月完成）
12月　東千歳地区一部給水開始

平成元（1989）年４月　料金改定　上水道、簡易水道３％値上げ（消費税相当分）
10月　名水ふれあい公園開園
２（1990）年４月　料金改定　上水道、簡易水道1.93％値下げ
３（1991）年６月　事業変更認可申請（第４期拡張事業変更）
第４期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　82,200人　１人１日最大給水量　544ℓ／日
１日最大給水量　44,800㎥／日　計画目標年次　平成５年度
予定事業費　2,677,000千円
取水施設：千歳川取水口
導水施設：千歳川導水管、導水ポンプ
浄水施設：蘭越配水池変更
４（1992）年２月　千歳川からの取水開始（祝梅川水利権の振替）
６（1994）年８月　第５期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　89,400人　１人１日最大給水量　568ℓ／日
１日最大給水量　50,800㎥／日　計画目標年次　平成10年度
予定事業費　6,491,100千円
取水施設：深井戸
導水施設：導水管
配水施設：塩素滅菌設備、オゾン接触層、活性炭接触
７（1995）年11月　千歳市公営企業経営審議会設置
８（1996）年４月　新千歳空港周辺プロジェクト関連の幹線配水管整備事業着手（平成15年３月完成）
７月　地下水高度浄水処理施設稼動
10月　料金改定　上水道45.90％、簡易水道28.39％値上げ
９（1997）年４月　料金改定　上水道、簡易水道２％値上げ（消費税相当分）
10（1998）年３月　蘭越浄水場新管理棟完成
10月　蘭越浄水場浄水池及び送水ポンプ場建設着手
12（2000）年３月　蘭越浄水場浄水池及び送水ポンプ場供用開始
４月　下水道事業と組織統合
13（2001）年４月　水道局新庁舎新築移転
15（2003）年11月　フロック形成池・沈澱池機械設備・上屋建築工事着手
17（2005）年２月　薬品注入設備増設（建築・機械・電気）
３月　フロック形成池・沈澱池機械設備・上屋建築工事完成
７月　急速ろ過池洗浄強度増強工事着手
８月　第６期拡張事業変更申請・認可
給水人口　93,900人　１人１日最大給水量　597ℓ／日
１日最大給水量　54,400㎥／日　計画目標年次　平成27年度
配水施設：配水池新設
18（2006）年９月　臨空工業団地配水池・泉沢幹線配水管事業着手
20（2008）年10月　臨空工業団地配水池工事着手
21（2009）年３月　泉沢幹線配水管工事着手
急速ろ過池洗浄強度増強工事完成
24（2012）年８月　事業変更認可申請（第６期拡張事業変更）
給水人口94,800人　１人１日最大給水量　574ℓ／日
１日最大給水量　54,400㎥／日　計画目標年次　平成34年度
配水施設：配水管
26（2014）年４月　料金改定　上水道、簡易水道３％値上げ（消費税相当分）
27（2015）年３月　臨空工業団地配水池・泉沢幹線配水管供用開始
４月　石狩東部広域水道企業団（千歳川浄水場）から受水開始
30（2018）年４月　料金改定　上水道17.5％値上げ
令和元（2019）年10月　料金改定　上水道、簡易水道２％値上げ（消費税相当分）
２（2020）年４月　重要給水施設配水管整備事業着手
５（2023）年３月　第６期拡張事業変更申請・認可
給水人口　97,300人　１人１日最大給水量　567ℓ／日
１日最大給水量　54,400㎥／日　計画目標年次　令和15年度
８（2026）年３月　第６期拡張事業変更申請・認可
浄水方法の一部変更　膜ろ過法の追加

水道局総務課

(3) 清掃事業

昭和31（1956）年	清掃条例施行　じん芥は特別清掃区域を設け、町（失業対策事業）が処理
33（1958）年	市制施行、計画収集地域を定め、市直営じん芥計画収集を実施
	じん芥処理手数料賦課制徴収
34（1959）年	じん芥捨場指定（美々）
37（1962）年	清掃条例全面改正、「千歳市清掃条例」制定
39（1964）年	じん芥処理手数料賦課制から従量制に改正
42（1967）年	末広し尿処理場完成運転開始（嫌気性加温消化方式、処理能力54kℓ／日）
43（1968）年	千歳市衛生団体連合会発足
44（1969）年	じん芥収集従量制からパック方式（紙袋）に改正、手数料無料化実施、市内ごみ箱全廃清掃センター完成
47（1972）年	廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行　事業系廃棄物処理、埋立手数料徴収
48（1973）年	じん芥、し尿計画収集完全実施（市街化区域内）
	美々廃棄物処理場（約12ha）　汚水浄化槽設置
	農村地域じん芥収集実施（３回／年）
	大型じん芥収集実施（１回／月）
55（1980）年	千歳市廃棄物処理計画の基本構想策定
	トラックスケール施設装置
56（1981）年	千歳市環境保全公社設立（７月19日財団法人化）
57（1982）年	千歳市リサイクルセンター完成
59（1984）年	有害物を多く含んだ特定のごみ分別収集実施（１回／月）
	美々廃棄物埋立処分場及び浸出水処理施設設置
	一般家庭じん芥（可燃ごみ・不燃ごみ）分別モデル地区（３地区）設定、分別収集実施
60（1985）年	普通じん芥（可燃ごみ・不燃ごみ）分別収集実施
	千歳市環境センター破砕処理場完成
63（1988）年２月	千歳市廃棄物処理基本計画策定
平成元（1989）年12月	千歳市環境センター車庫棟完成
２（1990）年１月	千歳市焼却処理場完成
２月	千歳市環境センター管理棟完成
３（1991）年４月	コンポスト容器購入補助金助成開始
５（1993）年４月	千歳市廃棄物の処理及び清掃に関する条例全部改正
９月	千歳市廃棄物減量等推進審議会設置
６（1994）年３月	汚水投入施設稼動（処理能力28kℓ／日）
	小動物焼却施設建設（焼却能力最大170kg／時間）
４月	廃棄物処理手数料改定（じん芥処理手数料、埋立等処分手数料）
７（1995）年３月	千歳市廃棄物最終処分場建設
	埋立面積46,800㎡（容積362,764㎥）
	浸出水処理施設　平均120㎥／日
８（1996）年４月	収集曜日の変更
８月	容器包装リサイクル法に基づく第１期「千歳市分別収集計画」策定
９（1997）年４月	農村地域（３回／月）から（４回／月）へ変更
10月	市指定ごみ袋の実施
10（1998）年４月	中心街事業系廃棄物の自己処理化実施（プリペイド方式の導入）
	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
11（1999）年５月	容器包装リサイクル法に基づく第２期「千歳市分別収集計画」策定
13（2001）年４月	千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正
	新リサイクルセンター完成運転開始
	４種資源物収集（１回／週）の実施
	市街地区じん芥収集運搬業務の完全民間委託
	祝日収集の実施
	大型ごみの戸別収集実施
	特定家庭用機器の戸別収集実施
	有害ごみ収集（１回／月）から（１回／週）へ変更

平成14（2002）年５月	容器包装リサイクル法に基づく第３期「千歳市分別収集計画」策定
11月	１号焼却炉のダイオキシン対策工事完了
15（2003）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
４月	農村地域の可燃ごみ収集（２回／月）から（１回／週）へ変更
16（2004）年３月	千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正
17（2005）年３月	２号焼却炉のダイオキシン対策工事完了
４月	廃棄物処理手数料改定（じん芥処理手数料、埋立等処分手数料）
６月	容器包装リサイクル法に基づく第４期「千歳市分別収集計画」策定
18（2006）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
５月	家庭ごみの有料化実施
11月	千歳市廃棄物最終処分場（第２埋立処理場）埋立終了 千歳市廃棄物最終処分場（第３埋立処理場）完成 埋立面積45,000㎡（容積310,000㎥） 浸出水処理施設 120㎥／日
19（2007）年３月	南空知公衆衛生組合「可燃性一般廃棄物の処理に関する協定書」締結 （期間：H19年度試験受入・H20・４・１からH27・３・31まで）
６月	容器包装リサイクル法に基づく第５期「千歳市分別収集計画」策定
21（2009）年４月	廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料、浄化槽汚泥処理手数料、生活雑排水処理手数料）
22（2010）年４月	千歳市環境センターの施設運転管理を民間企業に全面委託
６月	容器包装リサイクル法に基づく第６期「千歳市分別収集計画」策定
12月	プラスチック製容器包装有料収集開始に伴う千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正
23（2011）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
８月	新破砕処理場（太陽光発電装置付）完成運転開始
10月	プラスチック製容器包装収集（１回／週）の実施
24（2012）年３月	道央地域ごみ処理広域化推進協議会に参画表明
５月	第24回道央地域ごみ処理広域化推進協議会開催、千歳市の参画が決定、千歳市長が会長に就任
10月	新たな集団資源回収システム（奨励金方式）の実施
25（2013）年６月	容器包装リサイクル法に基づく第７期「千歳市分別収集計画」策定
26（2014）年２月	道央廃棄物処理組合設立、千歳市長が管理者に就任
３月	道央地域ごみ処理広域化推進協議会解散
４月	廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料、浄化槽汚泥処理手数料、生活雑排水処理手数料）使用済み小型家電の回収を実施
12月	南空知公衆衛生組合「可燃性一般廃棄物の処理に関する協定書」延長 （期間H27.4.1からH36.3.31まで）
28（2016）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
５月	千歳市災害廃棄物処理計画策定
６月	容器包装リサイクル法に基づく第８期「千歳市分別収集計画」策定
31（2019）年４月	廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料）
令和元（2019）年６月	容器包装リサイクル法に基づく第９期「千歳市分別収集計画」策定
３（2021）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改訂
４（2022）年１月	道央廃棄物処理組合構成自治体による、今後の最終処理場の共同処理に向け、道央廃棄物処理組合規約を改正
６月	容器包装リサイクル法に基づく第10期「千歳市分別収集計画」策定
６（2024）年４月	道央廃棄物処理組合焼却処理施設供用開始
７月	道央廃棄物処理組合焼却処理施設の供用開始に伴う、環境センター焼却処理場廃止

令和７（2025）年３月　計量所の移設整備
４月　廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料）
８（2026）年３月　千歳市一般廃棄物処理基本計画改訂

廃棄物業務課・廃棄物施設課

（4）病院事業

昭和22（1947）年１月　日本医療団千歳病院開院（旧・千歳海軍航空隊隊外酒保）
23（1948）年８月　道立千歳病院となる
病床数　50
診療科 内科・外科・産婦人科
42（1967）年４月　道から移管、千歳市立病院となる
病床数　132
診療科 内科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・耳鼻咽喉科
48（1973）年８月　病院増改築第１期工事着工
50（1975）年　第２期工事完成　病床数200（一般病棟171・結核病棟29）
51（1976）年３月　増改築全工事完成　千歳市立総合病院と改称
眼科・皮膚科開設
59（1984）年４月　泌尿器科開設
平成２（1990）年４月　麻酔科開設
６（1994）年４月　泉郷診療所開設
12（2000）年４月　支笏湖診療所　保健福祉部より所属替え
13（2001）年10月　脳神経外科開設
14（2002）年９月　市立総合病院新築移転（一般病棟 190床）
市立千歳市民病院と改称
循環器科開設
15（2003）年10月　消化器科開設
17（2005）年４月　地域医療連携室設置
18（2006）年12月　㈶日本医療機能評価機構による「病院機能評価（Ver.５）」の認定を受ける
20（2008）年７月　看護基準７対１取得
21（2009）年２月　市立千歳市民病院改革プラン策定
３月　電子カルテシステム導入
４月　ＤＰＣ（診断群分類による包括医療制度）運用開始
24（2012）年１月　㈶日本医療機能評価機構による「病院機能評価（Ver.６）」の認定を更新する
25（2013）年４月　医療安全管理室、感染対策室設置
７月　助産外来開設
26（2014）年３月　市立千歳市民病院中期経営計画策定
29（2017）年２月　㈶日本医療機能評価機構による「病院機能評価（３rdG：Ver.1.1）」の認定を更新する
３月　地域包括ケア病床開設（16床）
市立千歳市民病院中期経営計画（改訂版）策定
７月　千歳市地域連携ネットワークシステム「ちえネット」運用開始
令和元（2019）年６月　入院支援センター開設
10月　緩和ケア病床開設（２床）
５（2023）年10月　市立千歳市民病院経営強化プラン策定
６（2024）年４月　患者サポートセンター開設

市立千歳市民病院事務局総務課

（5）下水道事業

昭和36（1961）年８月　都市下水路として下水道事業着手
39（1964）年５月　千歳市公共下水道事業認可（第１次（当初）認可）
処理面積　130ha
６月　千歳市下水道条例制定
44（1969）年７月　第２次（第１回変更）認可
処理面積　330ha
46（1971）年５月　千歳下水終末処理場建設着手
48（1973）年６月　第３次認可
処理面積　990ha
51（1976）年４月　千歳市水洗便所改造資金貸付条例制定
５月　千歳下水終末処理場運転開始
処理能力　7,400㎥／日
52（1977）年２月　第４次認可（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の追加）
処理面積（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業のみ）31ha
７月　東雲汚水中継ポンプ場建設着手
12月　第５次認可（支笏湖畔下水終末処理場構造変更）
53（1978）年４月　東雲汚水中継ポンプ場運転開始
12月　支笏湖畔下水終末処理場建設着手
54（1979）年４月　千歳下水終末処理場第１系列拡張完了運転開始
処理能力　22,200㎥／日
10月　第６次認可（泉沢地区の区域拡大）
処理面積　1,519ha
58（1983）年２月　下水道使用料改定
支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業受益者分担金に関する条例制定
８月　支笏湖畔下水終末処理場（支笏浄湖苑）運転開始
処理能力　1,080㎥／日
59（1984）年２月　千歳川横断下水道工事完成
口径　3,000㎜
４月　豊里汚水中継ポンプ場運転開始（暫定）
60（1985）年12月　第１・２・３工業団地汚水受入開始
61（1986）年４月　千歳下水終末処理場第２系列運転開始
処理能力　29,600㎥／日
62（1987）年３月　第７次認可（泉沢地区の区域拡大）
処理面積　1,970ha
４月　豊里汚水中継ポンプ場運転開始
千歳下水終末処理場第２系列拡張完了運転開始
処理能力　44,400㎥／日
63（1988）年７月　第８次認可（旭ヶ丘、上長都地区の区域拡大）
処理面積　2,054ha
12月　デザイン公共桝蓋設置（仲の橋通）
平成４（1992）年２月　千歳下水終末処理場第３系列運転開始
処理能力　56,000㎥／日
３月　第９次認可（美々汚泥処理センターを反映）
処理面積　2,590ha
５（1993）年４月　第10次認可（合流区域の分流化を反映）
処理面積　2,730ha
６（1994）年２月　第11次認可（支笏湖畔処理区拡張）
処理面積（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業のみ）40ha
４月　個別排水処理施設整備事業開始
６月　第12次認可（美々、流通地区の区域拡大）
処理面積　3,016ha
７（1995）年３月　千歳下水終末処理場汚泥乾燥設備運転開始
７月　千歳市特定環境保全公共下水道事業受益者分担金条例制定

平成８（1996）年１月　第13次認可（OA、根志越第３地区の区域拡大）
　処理面積　3,078ha
３月　千歳下水終末処理場第３条系列拡張完了運転開始
　処理能力67,600㎥／日
９（1997）年３月　美々汚泥処理センター建設工事着手
10（1998）年８月　第14次認可（勇舞、根志越第４、蘭越地区の区域拡大）
　処理面積　3,197ha
11（1999）年６月　第15次認可（蘭越地区の区域拡大）
　処理面積　3,216ha
12（2000）年４月　地方公営企業法適用し、水道事業と組織統合
６月　第16次認可（みどり台、北信濃第3地区の区域拡大）
　処理面積　3,309ha
13（2001）年４月　水道局新庁舎に移転
８月　第17次認可（勇舞第２地区を区域拡大）
　処理面積　3,319ha
千歳下水終末処理場を千歳市浄化センターへ、美々汚泥処理センターを千歳市スラッジセンターへ名称変更
15（2003）年４月　千歳市スラッジセンター第１系列供用開始
16（2004）年３月　第18次認可（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の期間延伸）
10月　千歳市浄化センター第４系列運転開始
　処理能力　79,200㎥／日
18（2006）年３月　第19次認可（事業期間延伸）
19（2007）年３月　第20次認可（合流式下水道緊急改善事業を反映）
４月　千歳市スラッジセンター第２系列供用開始
20（2008）年４月　第21次認可（北陽高校前地区の区域拡大）
　処理面積　3,350ha
21（2009）年１月　第22次認可（あずさ地区の区域拡大）
　処理面積　3,357ha
23（2011）年２月　第23次認可（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の期間延伸）
24（2012）年２月　第24次認可（千歳処理区と支笏湖畔処理区の統合を反映）
　処理面積　3,402ha
　浄化センターの処理能力　74,200㎥／日
　浄化センター場内ポンプ場雨水滞水池供用開始
26（2014）年３月　第25次認可（平和地区の区域拡大）
　処理面積　3,452ha
　浄化センターの処理能力　64,200㎥／日
　水処理系列を4.0系列から3.5系列に変更
４月　下水道使用料改定　３％値上げ（消費税相当分）
28（2016）年６月　第26次認可
29（2017）年４月　支笏湖畔処理区の汚水の浄化センターへの汚水流下開始
９月　第27次認可（千歳川第15排水区と第16排水区の区域変更）
30（2018）年４月　下水道使用料改定　15.0％値下げ
31（2019）年２月　第28次認可（千歳市スラッジセンターの汚泥処理方法変更）
令和元（2019）年10月　下水道使用料改定　２％値上げ（消費税相当分）
３（2021）年３月　第29次認可（事業期間延伸）

水道局総務課

3　資料入手先一覧

章	事業所名	住所地	電話
4	国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所さけますセンター千歳さけます事業所	千歳市蘭越無番地	0123 23－2804
7	道央農業協同組合千歳支店	千歳市高台５丁目１－15	0123 23－5151
7	千歳金融協会	千歳市千代田町３丁目11番地北洋銀行千歳中央支店内	0123 23－3111
8	北海道エアポート㈱	千歳市美々987－22	0123 46－5100
8	日本郵便㈱北海道支社	札幌市中央区北２条西４丁目３	011 214－4013
8	ＮＥＸＣＯ東日本北海道支社	札幌市厚別区大谷地西５丁目12－30	011 896－5804
8	北海道旅客鉄道㈱	札幌市中央区北11条西15丁目	011 700－5717
8	千歳地区ハイヤー事業協同組合	千歳市末広１丁目４－８	0123 23－2731
8	北海道中央バス㈱千歳営業所	千歳市青葉２丁目16	0123 23－2171
8	道南バス㈱	室蘭市東町３丁目25－３	0143 45－2131
8	千歳相互観光バス㈱	千歳市里美２丁目１－５	0123 28－8822
8	あつまバス㈱	勇払郡厚真町字本郷229－１	01452 7－2311
8	十勝バス㈱	帯広市西23条北１丁目１番１号	0155 37－6500
8	富士交通㈱	恵庭市住吉町２丁目１番３号	0123 33－6271
8	ＮＴＴ東日本－北海道	札幌市中央区北１条西４丁目	011 212－4479
9	北海道開発局札幌開発建設部	札幌市北区北２条西19丁目	011 611－0111
9	北海道開発局建設部	札幌市北区北８条西２丁目札幌第１合同庁舎	011 611－0239
9	北海道空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所	千歳市桂木６丁目１－28	0123 23－4191
10	王子製紙㈱苫小牧工場	苫小牧市王子町２丁目１－１	0144 32－0438
10	北海道ガス㈱千歳支店	千歳市清水町１丁目１－１	0123 26－8600
11	北海道石狩振興局	札幌市中央区北３条西７丁目５	011 231－4111
11	北海道千歳高等学校	千歳市北栄１丁目４－１	0123 23－9145
11	北海道千歳北陽高等学校	千歳市北陽２丁目10	0123 24－2818
11	日本航空高等学校北海道	千歳市泉沢1007－95	0123 28－1155
11	北海道千歳高等支援学校	千歳市真々地２丁目３－１	0123 23－6681
11	公立千歳科学技術大学	千歳市美々758－65	0123 27－6001
11	北海道千歳リハビリテーション大学	千歳市里美２丁目10	0123 28－5331
12	千歳公共職業安定所	千歳市東雲町４丁目２－６	0123 24－2177
13	北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室	千歳市東雲町４丁目２	0123 23－3175

章	事業所名	住所地	電話
14	北海道警察札幌方面千歳警察署	千歳市東雲町５丁目	0123 42－0110
16	北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所	苫小牧市港町１丁目６－15	0144 32－5901
19	陸上自衛隊第七師団司令部総務課	千歳市祝梅1016	0123 23－5131
19	陸上自衛隊第一特科団本部広報班	千歳市北信濃724番地	0123 23－2106
19	陸上自衛隊第一高射特科団第一科広報班	千歳市祝梅1016	0123 23－5131
19	航空自衛隊千歳基地第２航空団司令部監理部広報室	千歳市平和無番地	0123 23－3101

1　資料入手先事業所名は順不同
総務課

要 覧 ち と せ

令和８年版

令和８年10月発行

発行　北海道千歳市
〒066-8686 千歳市東雲町２丁目34番地

編集　千歳市総務部総務課
電話（0123）24－0137（直通）

印刷　千歳印刷株式会社